

令和6年度

鳥取県医師会事業報告

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

公益社団法人 鳥取県医師会

目 次

1. 庶務・経理関係	1
2. 医学教育の向上に関する事項	29
3. 医学と関連科学との総合進歩に関する事項	30
4. 医師の生涯研修に関する事項	31
5. 医学、医療の国際交流に関する事項	32
6. 公衆衛生の指導啓発に関する事項	34
7. 地域医療の進展発展に関する事項	38
8. 地域保健の向上に関する事項	44
9. 保険医療の充実に関する事項	59
10. 医事法規の整備に関する事項	63
11. 医療施設の整備に関する事項	64
12. 医業経営の安定、会員の福祉向上による国民の健康 及び福祉の増進に関する事項	65
13. 医師会相互の連絡調整に関する事項	75
14. その他に関する事項	80

令和6年度鳥取県医師会事業報告

[R6. 4. 1～R7. 3. 31]

<敬称略>

1. 庶務・経理関係

1 会員数について

令和7年3月末日現在、本会会員数は1,408名（A1会員393名、A2会員20名、B会員995名）で、このうち、会費免除会員は175名である（令和7年5月1日受付分）。

さらに、これを地区別に示せば次のとおりである。

・東部552名、中部235名、西部558名、大学63名 計1,408名

2 代議員について

令和7年3月末日現在の代議員及び予備代議員は次のとおりで、任期は令和7年3月末日までである。

〔代議員〕

				◎ 議長	○ 副議長
東 部	松浦喜房	○石谷暢男	安陪隆明	乾 俊彦	宇都宮 靖
	大竹 実	尾崎隆之	尾崎 舞	加藤達生	小坂博基
	後藤大輔	高須宣行	高橋浩士	深澤 哲	藤田直樹
	松田裕之	皆木真一	森下嗣威	渡邊健志	
中 部	◎安梅正則	野田博司	宮崎 聡	岡田耕一郎	福羅匡普
	大谷英之	深田 悟	濱吉麻里		
西 部	根津 勝	藤瀬雅史	仲村広毅	安達敏明	市場和志
	越智 寛	金田周三	川谷俊夫	木下智裕	孝田雅彦
	小林ゆう	佐々木修治	瀧田寿彦	武本 祐	長田郁夫
	野坂美仁	廣田 裕	福井毅頭	細田明秀	
鳥 大	景山誠二	黒崎雅道			

〔予備代議員〕

東 部	石井泰史	石河利一郎	上山高尚	大石正博	大谷英之
	岡田睦博	河上真巳	川口 馨	小濱美昭	齊藤博昭
	下田 優	杉本勇二	中安弘幸	西浦清一	橋本篤徳
	松下公紀	三木統夫	山本 尚	山脇美香	
中 部	山本敏雄	三原 聡	門脇義郎	山本 了	岡本 賢
	宇奈手一司	明島亮二	森脇良太		
西 部	井庭貴浩	大谷正史	岡空輝夫	小田直治	面谷博紀
	鎌澤俊二	小酒慶一	近藤 亮	佐古博恒	下山晶樹
	瀬口正史	永井琢己	野村哲志	長谷川真弓	船木 聡
	細田淑人	南崎 剛	山口研一	山根一和	
鳥 大	磯本 一	藤原義之			

3 役員について

令和6年度の役員は、次のとおりである。（＊は常任理事）

◎ 任期：令和4年6月18日～令和6年6月15日

会 長	渡辺 憲					
副 会 長	清水正人	小林 哲				
理 事	＊ 岡田克夫	＊ 瀬川謙一	＊ 辻田哲朗	＊ 三上真顯	＊ 秋藤洋一	
	＊ 松田 隆	太田匡彦	岡田隆好	廣岡保明	永島英樹	
	來間美帆	橋田祐一郎				
監 事	山崎大輔	宮崎 聡				
裁定委員	大谷 武	幡 碩之	林 裕史	井東弘子	中本健太郎	
	木村禎宏	渡邊淳子	小竹 寛	難波範行		
顧 問	入江宏一	長田昭夫	魚谷 純			
日医理事	渡辺 憲					
日医代議員	清水正人	小林 哲				
同予備代議員	根津 勝					

◎ 任期：令和6年6月15日～令和8年6月開催予定の定例代議員会終結時

会 長	清水正人					
副 会 長	瀬川謙一	辻田哲朗				
理 事	＊ 岡田克夫	＊ 三上真顯	＊ 秋藤洋一	＊ 松田 隆	＊ 永島英樹	
	＊ 池田光之	廣岡保明	來間美帆	山崎大輔	山田七子	
	福島寛子	野口圭太郎				
監 事	尾崎真人	服岡泰司				
裁定委員	幡 碩之（～R7.2.20）		林 裕史	吉田真人		
	中本健太郎	河本知秀	小竹 寛	都田裕之		
	石井敏雄	難波範行				
顧 問	入江宏一	長田昭夫	魚谷 純	渡辺 憲		
日医代議員	清水正人	瀬川謙一				
同予備代議員	辻田哲朗	安梅正則				

4 役員会務分担について

令和6年度の役員会務分担は、次のとおりである。

任期：令和4年6月18日～令和6年6月15日

会 務 項 目	主 担 当	副 担 当
総 務	瀬川	岡田(克)・秋藤
財 務	瀬川	三上・太田
生涯教育、学術、専門医制度、医療倫理	廣岡	秋藤・岡田(隆)・永島・橋田
医療保険	三上	瀬川・秋藤・松田
かかりつけ医、在宅医療、介護保険、高齢者福祉障がい者福祉	三上	小林・太田
労災保険、自賠責保険	小林	清水
健康対策協議会	岡田(克)	秋藤・瀬川
感染症、新型コロナウイルス感染症対策	秋藤	岡田(隆)・松田・橋田
医療安全、医療事故調査報告制度、診療情報開示(個人情報保護)、職業倫理、自浄作用	瀬川	清水・太田・廣岡・永島
医事紛争	瀬川	清水・小林・辻田
救急医療、防災対策	清水	太田・廣岡・松田
広報、会報編集	辻田	秋藤・岡田(隆)・橋田
情報システム	辻田	岡田(克)・松田
臨床検査	小林	太田
学校医、学校保健、少子化対策	岡田(隆)	瀬川・辻田・松田・橋田
産業医、産業保健	秋藤	小林・岡田(克)・來間
健康スポーツ医	太田	清水・辻田
医療関係職種、共同利用施設	松田	清水
勤務医対策、医師会組織強化対策、医師の働き方改革	永島	秋藤・岡田(隆)・廣岡・橋田
男女共同参画	來間	永島・秋藤・橋田
医療政策	清水	小林・廣岡・永島
環境対策、外国人医療対策	橋田	來間
メンタルヘルス、自殺対策	松田	秋藤・來間・橋田
糖尿病対策	太田	小林・來間
禁煙指導対策	松田	三上
有床診療所対策	清水	三上
死体検案等関連対策、死因究明	廣岡	清水・小林・橋田

役 員 会 務 分 担

任期：令和6年6月15日～令和8年6月開催予定の定例代議員会終結時

会 務 項 目	主 担 当	副 担 当
総 務	瀬川	岡田・山崎
財 務	秋藤	池田
生涯教育、学術、専門医制度、医療倫理	廣岡	秋藤・永島・福嶋
医療保険	三上	瀬川・秋藤・野口
かかりつけ医、在宅医療、介護保険、高齢者福祉障がい者福祉	三上	瀬川・野口
労災保険、自賠責保険	山崎	福嶋
健康対策協議会	岡田	秋藤・瀬川・池田
感染症	秋藤	松田・三上・來間・野口
医療安全、医療事故調査報告制度、診療情報開示（個人情報保護）、職業倫理、自浄作用	秋藤	廣岡・永島・池田
医事紛争	瀬川	辻田・岡田
救急医療、防災対策	來間	廣岡・池田・野口
広報、会報編集	辻田	山崎・山田・福嶋
情報システム	辻田	岡田・松田・山崎・福嶋・野口
臨床検査	野口	來間
学校医、学校保健、少子化対策	松田	瀬川・來間
産業医、産業保健	福嶋	秋藤・來間
健康スポーツ医	池田	松田・永島
医療関係職種、共同利用施設	松田	福嶋
勤務医対策、医師会組織強化対策、医師の働き方改革	永島・山田	廣岡・秋藤・福嶋
男女共同参画	來間	秋藤・山田・福嶋
医療政策	福嶋	廣岡・永島
環境対策、外国人医療対策	山田	山崎
メンタルヘルス、自殺対策	松田	來間・福嶋
糖尿病対策	野口	瀬川・來間
禁煙指導対策	松田	三上
有床診療所対策	池田	野口
死体検案等関連対策、死因究明	廣岡	永島
地域医療構想、医師確保対策等	廣岡	秋藤・池田・野口・山崎

◎ 任期：令和4年6月18日～令和6年6月15日

(1) 医療保険委員会委員（担当：三上常任理事）

【委員長】※三上真顯 【副委員長】阿藤孝二郎

※清水正人	※小林 哲	※岡田克夫	※瀬川謙一	※辻田哲朗
※秋藤洋一	※松田 隆			
杉本勇二	松木 勉	森本啓介	吉田泰之	小寺正人
岸本幸廣	高須宣行	尾崎真人	後藤大輔	岡田耕一郎
明島亮二	仲村広毅	山崎大輔	山本一博	

※常任委員会委員

(2) 医療安全対策委員会委員（診療情報提供推進委員会を含む）（担当：瀬川常任理事）

※渡辺 憲	※清水正人	※小林 哲	※瀬川謙一	※太田匡彦
廣岡保明	西山あゆみ（県立中央病院看護局長）	川中修一（顧問弁護士）		
米田裕一（県医療・保険課長）	清水浩幸（鳥取赤十字病院薬剤部長）	松本美智子（県看護協会会長）		
石谷暢男	安梅正則	根津 勝	武中 篤	

※常任委員会委員

(3) 職業倫理・自浄作用活性化委員会委員（担当：瀬川常任理事）

【委員長】渡辺 憲

清水正人	小林 哲	瀬川謙一	廣岡保明
石谷暢男	安梅正則	根津 勝	

(4) 医事紛争処理委員会委員（担当：瀬川常任理事）

【委員長】渡辺 憲 【副委員長】清水正人

小林 哲	瀬川謙一	辻田哲朗	松田 隆	
村江正始	神鳥高世	石谷暢男	高須宣行	渡邊健志
安梅正則	深田 悟	根津 勝	岡空輝夫	福谷幸二

(5) 生涯教育委員会委員（担当：廣岡理事）

【委員長】廣岡保明

秋藤洋一	岡田隆好	永島英樹	橋田祐一郎
加藤達生	田中久雄	山本 了	花木啓一
服岡泰司	近藤 亮	武中 篤	景山誠二

(6) 広報委員会委員（担当：辻田常任理事）

【委員長】辻田哲朗

秋藤洋一	岡田隆好	橋田祐一郎	
池田光之	高須宣行	森廣敬一	濱吉麻里
仲村広毅	山崎大輔	武中 篤	

(7) 会報編集委員会委員（担当：辻田常任理事）

小林 哲	辻田哲朗	太田匡彦	岡田隆好
武信順子	中安弘幸	山根弘次	懸樋英一

(8) 情報システム運営委員会委員 (担当：辻田常任理事)

【委員長】辻田哲朗

【副委員長】清水正人

岡田克夫

秋藤洋一

松田 隆

加藤達生

明島亮二

瀧田寿彦

黒崎雅道

(9) 感染症危機管理対策委員会委員 (担当：秋藤常任理事)

【委員長】秋藤洋一

小林 哲

松田 隆

岡田隆好

橋田祐一郎

石谷暢男

明島亮二

長田郁夫

千酌浩樹

(10) 臨床検査精度管理委員会委員 (担当：小林副会長)

【委員長】小林 哲

松田 隆

太田匡彦

吉田泰之

野田博司

廣田 裕

河村浩二

湯田範規 (鳥取県臨床検査技師会長)

遠藤由香利 (鳥大医学部附属病院病理部)

(11) 介護保険対策委員会委員 (担当：小林副会長)

【委員長】小林 哲

清水正人

瀬川謙一

太田匡彦

橋本篤徳

野口圭太郎

三上真顯

花島律子

(12) 鳥取県自動車保険医療指導委員会委員 (担当：小林副会長)

清水正人

小林 哲

太田匡彦

來間美帆

池田光之

福嶋寛子

山崎大輔

(13) 鳥取医学雑誌編集委員会委員 (担当：廣岡理事)

【委員長】廣岡保明

【副委員長】大石正博

松田隆子

杉本勇二

吉田泰之

下田 学

徳安祐輔

上垣 崇

松尾諒一

山根弘次

齊藤博昭

懸樋英一

岡田隆好

濱本哲郎

岸本幸廣

杉谷 篤

岡野 徹

岡田晋一

遠藤宏治

河口剛一郎

(14) 定款・諸規程改正検討委員会委員 (担当：瀬川常任理事)

【委員長】清水正人

小林 哲

岡田克夫

瀬川謙一

三上真顯

尾崎真人

大竹 実

安梅正則

野田博司

安達敏明

辻田哲朗

岩田正明

(15) 母体保護法指定医師審査委員会委員 (担当：瀬川常任理事)

【委員長】村江正始

明島亮二

高橋弘幸

周防加奈

岩部富夫

鎌澤俊二

谷口文紀 (鳥大医学部教授)

(16) 母体保護法指定医師不服審査委員会委員（担当：瀬川常任理事）

川中修一（顧問弁護士） 松本美智子（県看護協会会長）
石谷暢男 安梅正則 根津 勝

(17) 学校医・園医部会運営委員会委員（担当：岡田理事）

【委員長】岡田隆好 【副委員長】松田 隆
瀬川謙一 辻田哲朗 橋田祐一郎 長田郁夫
石谷暢男 大谷英之 岡田耕一郎 岡本 賢
岡空輝夫 細田淑人

(18) 健康スポーツ医委員会委員（担当：太田理事）

【委員長】清水正人 【副委員長】辻田哲朗 太田匡彦
高須宣行 野口圭太郎 瀧田寿彦 榎田 誠

(19) 産業医部会運営委員会委員（担当：秋藤常任理事）

【委員長】尾崎米厚 【副委員長】小林 哲
森田明美 岡田克夫 三上真顯 秋藤洋一 來間美帆
加藤達生 後藤大輔 福嶋寛子 門脇義郎
越智 寛 福谷幸二

(20) 勤務医委員会委員（担当：永島理事）

【委員長】永島英樹 【副委員長】清水正人 廣岡保明
秋藤洋一 岡田隆好 橋田祐一郎
〔地区推薦〕足立誠司 尾崎 舞 花木啓一 深田 悟
南崎 剛 近藤 亮 花島律子
〔県医推薦〕三浦さおり（県立中央病院） 山代 豊（鳥取赤十字病院）
角田直子（鳥取生協病院） 土居 充（鳥取医療センター）
米谷 康（岩美病院） 大谷恭一（智頭病院）
鈴木一則（県立厚生病院） 水田栄之助（山陰労災病院）
津田公子（済生会境港総合病院） 村田裕彦（西伯病院）

(21) 労災保険委員会委員・自賠責保険委員会委員（担当：小林副会長）

【委員長】小林 哲
清水正人 太田匡彦 來間美帆
大竹 実 福嶋寛子 山崎大輔

(22) 禁煙指導対策委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆
清水正人 三上真顯 秋藤洋一
安倍隆明 明島亮二 面谷博紀 今村武史

(23) 鳥取県糖尿病対策推進会議委員(担当：太田理事)

【委員長】渡辺 憲

【副委員長】太田匡彦

小林 哲

來間美帆

村尾和良

大倉 毅

尾崎 舞

山本 了

越智 寛

谷口晋一 (日本糖尿病学会中国四国支部・鳥取大学医学部)

檜崎晃史 (鳥取県糖尿病協会)

山崎利幸 (県健康政策課長)

廣田智子 (県市町村保健師協議会)

小濱裕幸 (県歯科医師会)

油谷章吉 (県薬剤師会)

新庄加代子 (県看護協会)

磯部紀子 (県栄養士会)

(24) 救急・災害対策委員会委員(担当：清水副会長)

【委員長】清水正人

小林 哲

岡田克夫

松田 隆

太田匡彦

廣岡保明

來間美帆

吉田泰之

深田 悟

仲村広毅

本間正人

(25) 男女共同参画推進委員会委員(担当：來間理事)

【委員長】秋藤洋一

永島英樹

橋田祐一郎

松田隆子

尾崎 舞

濱吉麻里

來間美帆

花島律子

大羽沢子 (鳥大医学部附属病院ワークライフバランス支援センター副センター長)

(26) 医療倫理委員会委員(担当：廣岡理事)

【委員長】渡辺 憲

【副委員長】瀬川謙一

清水正人

小林 哲

廣岡保明

尾崎 舞

野田博司

佐々木修治

杉谷 篤

松本美智子 (県看護協会長)

福井 恒 (県医療政策課長)

(27) 学校検尿対策委員会委員(担当：岡田理事)

【委員長】岡田隆好

瀬川謙一

松田 隆

深澤 哲

宇都宮 靖

河場康郎

笠木正明

岡田晋一

岡空輝夫

山本雅文 (県体育保健課長)

石谷暢男

野口圭太郎

長田郁夫

◎ 任期：令和6年6月15日～令和8年6月開催予定の定例代議員会終結時

1. 医療保険委員会委員（担当：三上常任理事）

【委員長】※三上真顯 【副委員長】阿藤孝二郎

※瀬川謙一	※辻田哲朗	※岡田克夫	※秋藤洋一	※松田 隆
※永島英樹	※池田光之	※野口圭太郎		
杉本勇二	松木 勉	森本啓介	吉田泰之	小寺正人
岸本幸廣	高須宣行	尾崎真人	後藤大輔	明島亮二
福羅匡普	仲村広毅	山崎大輔	谷口文紀	

※常任委員会委員

2. 医療安全対策委員会委員（診療情報提供推進委員会を含む）（担当：秋藤常任理事）

※清水正人	※瀬川謙一	※秋藤洋一	※永島英樹	※池田光之
廣岡保明				
西山あゆみ（県立中央病院看護局長）		川中修一（顧問弁護士）	米田裕一（県医療・保険課長）	
小寺 悟（鳥取赤十字病院薬剤部長）		松本美智子（県看護協会会長）		
石谷暢男	安梅正則	藤瀬雅史	武中 篤	

※常任委員会委員

3. 職業倫理・自浄作用活性化委員会委員（担当：秋藤常任理事）

【委員長】清水正人

瀬川謙一	辻田哲朗	秋藤洋一	廣岡保明
石谷暢男	安梅正則	藤瀬雅史	

4. 医事紛争処理委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】清水正人 【副委員長】瀬川謙一

辻田哲朗	岡田克夫	秋藤洋一	松田 隆	村江正始
佐々木慎一	石谷暢男	高須宣行	渡邊健志	
安梅正則	深田 悟	藤瀬雅史	長田郁夫	能美隆啓

5. 生涯教育委員会委員（担当：廣岡理事）

【委員長】廣岡保明

秋藤洋一	永島英樹	福嶋寛子		
加藤達生	齊藤博昭	花木啓一	山本 了	服岡泰司
近藤 亮	武中 篤	景山誠二		

6. 広報委員会委員（担当：辻田副会長）

【委員長】辻田哲朗

山田七子	福嶋寛子			
池田光之	高須宣行	濱吉麻里	宇奈手一司	仲村広毅
山崎大輔	武中 篤			

7. 会報編集委員会委員（担当：辻田副会長）

辻田哲朗	池田光之	山崎大輔	山田七子	福嶋寛子
武信順子	中安弘幸	山根弘次	懸樋英一	

8. 情報システム運営委員会委員（担当：辻田副会長）

【委員長】辻田哲朗

【副委員長】岡田克夫

松田 隆

山崎大輔

福島寛子

野口圭太郎

加藤達生

明島亮二

瀧田寿彦

黒崎雅道

9. 感染症危機管理対策委員会委員（担当：秋藤常任理事）

【委員長】秋藤洋一

三上真顯

松田 隆

來間美帆

野口圭太郎

石谷暢男

明島亮二

長田郁夫

千酌浩樹

10. 臨床検査精度管理委員会委員（担当：野口理事）

【委員長】野口圭太郎

岡田克夫

來間美帆

宇都宮靖

宮崎 聡

廣田 裕

河村浩二

仲田夢人（鳥取大学医学部附属病院検査部）

湯田範規（鳥取県臨床検査技師会長）

11. 介護保険対策委員会委員（担当：三上常任理事）

【委員長】三上真顯

瀬川謙一

野口圭太郎

橋本篤徳

宇奈手一司

花島律子

12. 鳥取医学雑誌編集委員会委員（担当：廣岡理事）

【委員長】廣岡保明

【副委員長】大石正博

松田隆子

杉本勇二

下田 学

徳安祐輔

岡田睦博

山根弘次

齊藤博昭

長治 誠

懸樋英一

橋田祐一郎

岡田隆好

濱本哲郎

岸本幸廣

杉谷 篤

岡野 徹

遠藤宏治

吉川泰司

河口剛一郎

松尾諒一

13. 定款・諸規程改正検討委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】瀬川謙一

辻田哲朗

岡田克夫

三上真顯

松田 隆

尾崎真人

大竹 実

安梅正則

岡田耕一郎

安達敏明

岩田正明

14. 母体保護法指定医師審査委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】村江正始

明島亮二

高橋弘幸

周防加奈

岩部富夫

鎌澤俊二

谷口文紀（鳥大医学部生殖機能医学分野教授）

15. 母体保護法指定医師不服審査委員会委員（担当：瀬川副会長）

川中修一（顧問弁護士）

松本美智子（県看護協会会長）

石谷暢男

安梅正則

藤瀬雅史

16. 学校医・園医部会運営委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆 【副委員長】瀬川謙一
辻田哲朗 三上真顯 來間美帆
石谷暢男 大谷英之 岡田耕一郎 岡本 賢 長田郁夫
細田淑人

17. 健康スポーツ医委員会委員（担当：池田常任理事）

【委員長】池田光之 【副委員長】松田 隆 永島英樹
高須宣行 深田 悟 瀧田寿彦 榎田 誠

18. 産業医部会運営委員会委員（担当：福嶋理事）

【委員長】尾崎米厚 【副委員長】福嶋寛子
森田明美 岡田克夫 三上真顯 秋藤洋一 來間美帆
加藤達生 後藤大輔 門脇義郎 越智 寛 楠見公義

19. 勤務医委員会委員（担当：永島常任理事）

【委員長】永島英樹 【副委員長】廣岡保明 山田七子
秋藤洋一 福嶋寛子
〔地区推薦〕足立誠司 尾崎 舞 花本啓一 深田 悟
原田賢一 近藤 亮 藤原義之
〔県医推薦〕宗村千潮（県立中央病院） 山代 豊（鳥取赤十字病院）
宮崎慎一（鳥取生協病院） 土居 充（鳥取医療センター）
尾崎隆之（岩美病院） 大谷恭一（智頭病院）
鈴木一則（県立厚生病院） 水田栄之助（山陰労災病院）
津田公子（済生会境港総合病院） 村田裕彦（西伯病院）

20. 労災保険委員会委員・自賠責保険委員会委員・鳥取県自動車保険医療指導委員会委員

（担当：山崎理事）

【委員長】山崎大輔
瀬川謙一 辻田哲朗 池田光之 來間美帆
大竹 実 福嶋寛子

21. 禁煙指導対策委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆
瀬川謙一 岡田克夫 三上真顯
安陪隆明 明島亮二 山田健作 今村武史

22. 鳥取県糖尿病対策推進会議委員（担当：野口理事）

【委員長】清水正人 【副委員長】野口圭太郎
瀬川謙一 來間美帆 村尾和良 大倉 毅
尾崎 舞 山本 了 越智 寛 谷口晋一（日本糖尿病学会中国四国支部・鳥取大学医学部）
檜崎晃史（鳥取県糖尿病協会） 角田智玲（県健康政策課長） 廣田智子（県市町村保健師協議会）
小濱裕幸（県歯科医師会） 油谷章吉（県薬剤師会） 松本理恵（県看護協会）
磯部紀子（県栄養士会）

23. 救急・災害対策委員会委員（担当：来間理事）

【委員長】来間美帆

瀬川謙一	辻田哲朗	廣岡保明	野口圭太郎
池田光之	宮崎 聡	仲村広毅	上田敬博

24. 男女共同参画推進委員会委員（担当：来間理事）

【委員長】秋藤洋一

山田七子	福島寛子	松田隆子	
尾崎 舞	濱吉麻里	来間美帆	花島律子
大羽沢子（鳥大医学部附属病院ワークライフバランス支援センター副センター長）			

25. 医療倫理委員会委員（担当：廣岡理事）

【委員長】清水正人

【副委員長】瀬川謙一

秋藤洋一	永島英樹	廣岡保明	
尾崎 舞	岡田耕一郎	佐々木修治	
杉谷 篤	松本美智子（県看護協会長）	福井 恒（県医療政策課長）	

26. 学校検尿対策委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆

瀬川謙一	来間美帆	野口圭太郎	深澤 哲	宇都宮 靖
河場康郎	笠木正明	岡田晋一	岡空輝夫	山本雅丈（県体育保健課長）
石谷暢男	岡本 賢	長田郁夫		

6 顧問弁護士・顧問税理士・顧問社労士について

令和7年3月末日現在、次のとおりである。

顧問弁護士	川中修一（米子市）	顧問税理士	岸本信一（鳥取市）
顧問社労士	吉田佳寿美（鳥取市）		

7 厚生労働省、県、関係団体委員会委員の推薦について

令和6年度に本会が推薦した厚生労働省、県、関係団体委員会委員は、次のとおりである。
委員会の審議にあたっては、本会方針の反映に努めた（一部本会推薦以外も含む）。

〔厚生労働省：地域医療計画課〕

- 1 地域医療構想アドバイザー（至R7.8.31）
魚谷 純

〔鳥取県総務部人権局〕

- 1 人権に関する相談窓口における専門相談員（至R9.3.31）
助川鶴平 兼子幸一 岩田正明

〔鳥取県福祉保健部感染症対策局感染症対策課〕

- 1 鳥取県感染症対策連携協議会（至R8. 3. 31）
秋藤洋一

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：医療政策課〕

- 1 鳥取県准看護師試験委員（至R8. 7. 18）
門脇義郎
- 2 鳥取県医療審議会委員（至R9. 1. 13）
渡辺 憲（～R6. 8. 27） 坂本雅彦（～R6. 10. 16）
清水正人 池田光之（R6. 8. 27～） 尾崎 舞（R7. 1. 14～）
- 3 鳥取県医療審議会医療法人部会委員（至R9. 1. 13）
清水正人（～R6. 10. 16） 池田光之（R7. 1. 16～）
- 4 鳥取県地域医療対策協議会委員（至R7. 12. 18）
瀬川謙一
- 5 鳥取県精度管理専門委員（至R8. 3. 31）
小林 哲
- 6 鳥取県ドクターヘリ運航調整委員会委員
清水正人
- 7 鳥取県ドクターヘリ運航連絡会議
清水正人
- 8 鳥取県地域医療支援センター運営委員会委員（至R8. 3. 31）
清水正人
- 9 鳥取県災害医療コーディネーター（至R7. 11. 17）
清水正人 野口圭太郎 木内 誠 田村明子
- 10 鳥取県死因究明等推進協議会委員
後藤大輔
- 11 ICTを活用した医療機関における情報化推進会議
辻田哲朗 米川正夫

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：健康政策課〕

- 1 鳥取県感染症対策協議会委員（至R7. 4. 6）
木下朋絵 瀬口正史 倉信奈緒美 倉信裕樹（～R7. 4. 19）
秋藤洋一（～R8. 2. 16）
- 2 鳥取県感染症対策協議会（情報解析部会）委員（至R9. 3. 31）
千酌浩樹（鳥取県感染症対策センター感染症専門監）
倉信裕樹 木下朋絵 河場康郎 倉信奈緒美 瀬口正史
北浦 剛
- 3 鳥取県がん対策推進県民会議委員（至R8. 12. 17）
岡田克夫
- 4 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議
（鳥取県健康づくり文化創造推進会議及び心といのちを守る県民運動）委員（至R7. 7. 6）
秋藤洋一

- 5 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議
 （鳥取県健康づくり文化創造推進会議・鳥取県8020運動推進協議会）委員（至R8. 2. 19）
 松田 隆

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：長寿社会課〕

- 1 第9期鳥取県介護保険事業支援計画及び老人福祉計画策定・推進委員会委員（至R8. 3. 31）
 乾 俊彦
 2 鳥取県喀痰吸引等研修実施委員会委員（R7. 4. 27）
 麻木俊宏

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：医療・保険課〕

- 1 鳥取県医療安全推進協議会委員（至R8. 10. 31）
 太田匡彦（～R6. 10. 31） 秋藤洋一（R6. 11. 1～）
 2 鳥取県ワクチン流通等対策委員会委員
 笠木正明
 3 鳥取県後期高齢者医療審査会委員（至R7. 4. 30）
 高須宣行
 4 社会保険医療担当者指導員（至R7. 5. 31）

内 科	坂本雅彦	吉田明雄	杉本勇二	松木 勉	中安弘幸
	陶山和子	神谷 剛	田中孝幸	荻野和秀	
外 科	森本啓介				
整形外科	阿藤孝二郎				
小 児 科	深澤雅子				
耳鼻咽喉科	竹内裕美				
精 神 科	田中 潔				
眼 科	伊藤久太郎				
皮 膚 科	葉狩良孝	西浦清一			
泌尿器科	井上明道	早田俊司			
脳 外 科	紙谷秀規				
産婦人科	村江正始	皆川幸久			

5 鳥取県国民健康保険審査会委員（至R8. 9. 22）
 森 英俊
 6 鳥取県薬物乱用対策推進本部会議委員（至R8. 1. 31）
 安陪隆明
 7 鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会委員（至R9. 6. 30）
 來間美帆
 8 鳥取県国民健康保険運営協議会委員（至R9. 12. 11）
 田中敬子（～R6. 10. 20） 皆川幸久（R6. 12. 12～）

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：福祉保健課〕

- 1 鳥取県社会福祉審議会委員（至R9. 12. 16）
 小林 哲（～R6. 10. 22） 辻田哲朗（R6. 12. 17～） 助川鶴平

- 2 鳥取県社会福祉審議会臨時委員（至R9. 12. 16）

井上明道（～R6. 10. 22）	岩下香代子（～R6. 10. 22）	倉信耕爾（～R6. 10. 22）
森本啓介（～R6. 10. 22）	大槻亮二	藏増亜希子
清水 哲	元田欽也	太田匡彦（R6. 12. 17～）
前田啓之（R6. 12. 17～）	川口 馨（R6. 12. 17～）	大谷英之（児童福祉専門分科会）
- 3 鳥取県社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会委員（至R9. 12. 16）

辻田哲朗（R6. 12. 17～）	大槻亮二	藏増亜希子	清水 哲
元田欽也	太田匡彦（R6. 12. 17～）	前田啓之（R6. 12. 17～）	
川口 馨（R6. 12. 17～）	小林 哲（～R6. 10. 22）	井上明道（～R6. 10. 22）	
森本啓介（～R6. 10. 22）	倉信耕爾（～R6. 10. 22）	岩下香代子（～R6. 10. 22）	

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：孤独・孤立対策課〕

- 1 生活保護に係る嘱託医（至R7. 3. 31）

秋藤洋一	山田武史
------	------

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：障がい福祉課〕

- 1 鳥取県障害者介護給付費等不服審査会委員（至R9. 5）

高須宣行	竹内亜理子
------	-------
- 2 鳥取県精神保健福祉医療協議会委員（鳥取県アルコール健康障害・依存症対策会議）（至R9. 7. 8）

小林ゆう

〔鳥取県子ども家庭部：子育て王国課〕

- 1 鳥取県青少年問題協議会委員（至R7. 7. 27）

前岡幸憲

- 2 子育て王国とっとり会議委員（至R8. 10. 27）

鎌澤俊二

〔鳥取県子ども家庭部：家庭支援課〕

- 1 鳥取県小児慢性特定疾患審査会委員

岡田晋一

- 2 精神科領域の治療等を緊急に要する施設入所児童の対応に係る協力医療機関

竹内亜理子	兼子幸一	岩田正明
-------	------	------
- 3 鳥取県困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画（仮称）策定に係る検討会委員

高橋弘幸

- 4 「予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業（CDR）」における推進会議及び多機関検証ワーキンググループ委員

橋田祐一郎

〔鳥取県危機管理局：危機対策・情報課〕

- 1 鳥取県防災会議委員（至R8. 7. 23）

太田匡彦（～R6. 5. 31）	高岸真紀（R6. 7. 24～）
------------------	------------------
- 2 鳥取県国民保護協議会委員

岩垣陽子

〔鳥取県危機管理局：消防防災課〕

- 1 鳥取県救急搬送高度化推進協議会委員（至R7. 5. 15）
山崎大輔
- 2 鳥取県応急手当普及推進会議委員
清水正人

〔鳥取県総務部：福利厚生課〕

- 1 鳥取県公務災害補償等審査会委員（至R8. 2. 7）
大竹 実
- 2 鳥取県公務災害補償等認定委員会委員（至R8. 2. 7）
松浦喜房
- 3 地方公務員災害補償基金鳥取県支部審査会委員（至R8. 2. 7）
大竹 実

〔鳥取県病院局：総務課〕

- 1 鳥取県立病院運営評議会委員（至R8. 12. 14）
渡辺 憲（～R6. 7. 31） 清水正人（R6. 12. 15～、R7. 1. 28～会長）

〔鳥取県生活環境部：くらしの安心局くらしの安心推進課〕

- 1 鳥取県性暴力被害者支援協議会
会長：村江正始 委員：片桐千恵子 中曽庸博 田治米佳世

〔鳥取県令和新時代創造本部：女性活躍推進課〕

- 1 鳥取県男女共同参画審議会委員（至R8. 5. 14）
片桐千恵子

〔鳥取県学校保健会〕

- 1 学校保健会長（至R8. 6 理事会）
渡辺 憲（～R6. 6. 15） 清水正人（R6. 6. 15～）
- 2 学校安全表彰審査会委員（至R8. 6 理事会）
渡辺 憲（～R6. 6. 15） 清水正人（R6. 6. 15～）

〔鳥取県教育委員会事務局：体育保健課〕

- 1 鳥取県学校結核対策委員会委員
笠木正明
- 2 鳥取県がん教育推進協議会委員（至R9. 3. 31）
尾崎真人
- 3 令和7年度全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会
第3回宿泊衛生・輸送警備専門委員会
來間美帆

〔鳥取県教育委員会事務局：教育総務課〕

- 1 鳥取県教育委員会職員健康管理審査会（神経・精神障がい健康審査会）委員（至R7. 3. 31）
幡 雄一郎

〔鳥取県教育委員会事務局：いじめ・不登校総合対策センター〕

- 1 鳥取県いじめ・不登校対策連絡協議会委員（至R8. 3. 31）
長石純一

〔鳥取県教育委員会事務局：社会教育課〕

- 1 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会委員（至R7. 7. 31）
松田 隆

〔鳥取労働局〕

- 1 労災保険診療費審査委員：医師会推薦（至R7. 3. 31）
明穂政裕 中島匡敏 山縣 昇
労災保険診療費審査委員：労働局推薦（至R7. 3. 31）
森下嗣威 石井博之 南崎 剛
- 2 労災協力医：労働局・医師会推薦（至R8. 3. 31）
坂本雅彦 杉本勇二 吉田泰之 下田 学 竹内裕美
倉信耕爾 蔵増亜希子 那須吉郎 前田和久 岡田浩子
- 3 地方労災医員：労働局推薦（至R7. 3. 31）
高橋敏明 阿藤孝二郎 岡野 徹 近藤慎二
助川鶴平（至R8. 3. 31） 塩崎かおる（至R8. 3. 31） 土井 清（至R8. 3. 31）
- 4 健康管理医（メンタルヘルス担当）
高田耕吉
- 5 治療と仕事の両立支援のための「鳥取県地域両立支援推進チーム」委員
秋藤洋一
- 6 職業病相談員（至R7. 3. 31）
岡田浩子

〔厚生労働省中国四国厚生局〕

- 1 中国地方社会保険医療協議会委員（至R7. 9. 30）
渡辺 憲（～R6. 8. 20） 清水正人（R6. 8. 20～）

〔中国四国厚生局鳥取事務所〕

- 1 保険指導医（至R7. 3. 31）

内 科	坂本雅彦	吉田明雄	杉本勇二	松木 勉	中安弘幸
	陶山和子	神谷 剛	田中孝幸	荻野和秀	
外 科	森本啓介				
整形外科	阿藤孝二郎				
小 児 科	深澤雅子				
耳鼻咽喉科	竹内裕美				
精 神 科	田中 潔				
眼 科	伊藤久太郎				
皮 膚 科	葉狩良孝	西浦清一			
泌尿器科	井上明道	早田俊司			
脳 外 科	紙谷秀規				
産婦人科	村江正始	皆川幸久			

〔鳥取大学〕

- 1 国立大学法人鳥取大学学長選考・監察会議委員（至R7. 3. 31）
渡辺 憲
- 2 国立大学法人鳥取大学経営協議会委員（至R7. 3. 31）
渡辺 憲

〔鳥取大学医学部〕

- 1 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会委員（至R8. 3. 31）
渡辺 憲（～R6. 6. 15） 清水正人（R6. 12. 17～）

〔鳥取大学医学部附属病院〕

- 1 鳥取県がん診療連携協議会委員（至R8. 3. 31）
清水正人 辻田哲朗
- 2 子どもの心の診療ネットワーク会議委員（任期：事業完了時）
岡田隆好

〔鳥取県警察本部：監察課〕

- 1 鳥取県留置施設視察委員会委員（至R7. 5. 31）
黒沢洋一

〔鳥取県警察本部：生活安全部少年・人身安全対策課〕

- 1 児童ポルノ画像鑑定に係る嘱託医師（至R9. 3. 31）
皆川幸久 長石純一 花木啓一 谷口文紀

〔社会保険診療報酬支払基金鳥取支部〕

- 1 社会保険診療報酬支払基金鳥取審査委員会事務局審査運営協議会委員（至R8. 9. 30）
渡辺 憲（～R6. 7. 31） 清水正人（R6. 8. 1～）

〔鳥取県町村総合事務組合〕

- 1 鳥取県町村非常勤職員公務災害補償等審査会委員（至 R8. 3. 31）
瀬川謙一

〔鳥取県看護協会〕

- 1 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会委員（至 R7. 3. 31）
小林 哲
- 2 鳥取県ナースセンター事業運営協議会委員（至R7. 3. 31）
岡田克夫
- 3 鳥取県訪問看護支援センター運営協議会委員（至R8. 12. 31）
太田匡彦（～R6. 12. 31） 瀬川謙一（R7. 2. 5～）

〔鳥取県公衆衛生協会〕

- 1 鳥取県公衆衛生協会理事（至R8. 5. 23）
渡辺 憲（～R6. 5. 23） 清水正人 岡田隆好（～R6. 5. 23）
辻田哲朗（R6. 7. 11～） 秋藤洋一（R6. 7. 11～）

〔鳥取県社会福祉協議会〕

- 1 福祉サービス運営適正化委員会委員（至8. 8. 31）
鱸 俊朗
- 2 貸付審査等運営委員会委員（至R8. 3. 31）
田中敬子
- 3 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員（至R7. 10. 31）
三島香津子

〔鳥取県保健事業団〕

- 1 鳥取県保健事業団副理事長（至R8. 5 定時評議員会）
岡田克夫
- 2 鳥取県保健事業団評議員（至R8. 5 定時評議員会）
瀬川謙一

〔鳥取県国民健康保険団体連合会〕

- 1 介護給付費審査委員会委員（至R8. 4. 30）
吉田良平 米谷 康
- 2 介護サービス苦情処理委員会委員（至R8. 3. 31）
橋本篤徳
- 3 はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費の支給申請書審査委員会委員
（至R9. 3. 31） 高須宣行

〔鳥取県国際交流財団〕

- 1 公益財団法人鳥取県国際交流財団評議員（至R8. 5月定例評議員会）
岡田克夫

〔鳥取県暴力追放センター〕

- 1 公益財団法人鳥取県暴力追放センター顧問
清水正人

〔鳥取県臓器・アイバンク〕

- 1 公益財団法人鳥取県臓器・アイバンク理事（至R7. 6 定時評議員会終結時）
魚谷 純 太田匡彦（～R7. 6退任）

〔鳥取県薬剤師会〕

- 1 鳥取県薬剤師会薬事情報センター運営委員会委員（至R8. 6 定時総会開催日）
辻田哲朗

〔鳥取県精神保健福祉協会〕

- 1 鳥取県精神保健福祉協会理事（至R7. 4総会）
清水正人

〔鳥取産業保健総合支援センター〕

- 1 鳥取産業保健総合支援センター所長
黒沢洋一
- 2 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会委員（至R7. 3. 31）
渡辺 憲 秋藤洋一 岡田浩子

〔鳥取県医療勤務環境改善支援センター〕

- 1 鳥取県医療勤務環境改善支援センター運営協議会会長
渡辺 憲（～R6. 6. 15） 清水正人（R6. 6. 15～）
- 2 鳥取県医療勤務環境改善支援センター委員
秋藤洋一 山本敏雄

〔鳥取県後期高齢者医療広域連合〕

- 1 鳥取県後期高齢者医療懇話会委員（至R9. 3. 31）
野口圭太郎

〔関西広域連合協議会〕

- 1 関西広域連合協議会委員（至R7. 8. 31）
清水正人

〔中国四国医師会連合〕

- 1 勤務医委員会
廣岡保明 永島英樹

〔日本医師会〕

- 1 勤務医委員会委員（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
渡辺 憲（～R6. 6. 22 委員長、R6. 10. 1～副委員長）
- 2 広報委員会委員（至R6. 6. 22）
辻田哲朗
- 3 医療機関勤務環境評価センター医療サーベイヤー（至R7. 10. 31）
秋藤洋一 杉谷 篤
- 4 病院委員会委員（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
清水正人
- 5 運動・健康スポーツ医学委員会委員（至R6. 6. 22）
太田匡彦
- 6 医師国保組合に関する検討委員会委員（プロジェクト）（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
清水正人
- 7 医療情報システム協議会運営委員会（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
福島寛子
- 8 未来医師会ビジョン委員会（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
野口圭太郎
- 9 医療安全対策委員会（至R8. 6 開催予定の定例代議員会）
秋藤洋一

〔鳥取市：福祉部障がい福祉課〕

1 鳥取市社会福祉審議会

心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会委員（臨時委員）（至R9. 12. 16）

井上明道（～R6. 10. 22）	森本啓介（～R6. 10. 22）	倉信耕爾（～R6. 10. 22）
岩下香代子（～R6. 10. 22）	大槻亮二	藏増亜希子
太田匡彦（R6. 12. 17～）	前田啓之（R6. 12. 17～）	清水 哲 元田欽也
		川口 馨（R6. 12. 17～）

〔その他〕

1 鳥取県医療機関企業年金基金役員（至R7. 4. 10）

理事長	瀬川謙一			
常務理事	野藤哲美			
理 事	野島丈夫	廣江 智	糸原博史	三島一晃
代議員	野坂美仁	吹野俊介	乾 俊彦	小澤尚之
	三宅 学	森本健一郎	西田 功	小椋一樹
監 事	福田裕充	安養寺信久		

2 山陰救急医学会幹事・評議員

清水正人

3 日本救急医学会中国四国地方会評議員（至R7. 5 学術集会終了日）

清水正人

4 全国有床診療所協議会代議員（至R7. 3. 31）

米川正夫

5 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会理事（至R8. 6. 30）

池田光之 清水正人（～R6. 6. 30）

6 鳥取県柔道整復師会顧問

清水正人

7 鳥取県鍼灸師会顧問

清水正人

8 鳥取県鍼灸マッサージ師会顧問

清水正人

9 NPO法人おしどりネット

理事長 辻田哲朗 理事 米川正夫

10 鳥取県若年認知症ネットワーク会議委員

田治米佳世

11 鳥取県再犯抑止更生協会正会員

清水正人

12 公益社団法人鳥取県人権文化センター理事（至R7. 5 総会）

岡本匡史

13 鳥取県消費者見守りネットワーク協議会委員

岡本匡史

8 各種会合について

令和7年3月末日までに開催された代議員会並びに各種会合等は、次のとおりである。

1) 代議員会（1回）

（1）第210回定例代議員会

令和6年6月15日、ホテルニューオータニ鳥取において開催した。議長に安梅中部医師会長、副議長に石谷東部医師会長が選定された後、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画及び収支予算の説明が行われた。議事として、2議案、(1)令和5年度決算、(2)令和7年度会費及び負担金の徴収について審議が行われ、承認・可決された。その後、役員の選任が行われ、清水会長、瀬川・辻田両副会長以下17名の役員並びに裁定委員9名が選任された後、清水会長、瀬川・辻田両副会長がそれぞれ選定された。引き続き、日医代議員及び予備代議員選挙を行い、清水会長、瀬川副会長を日医代議員に、辻田副会長、安梅議長を同予備代議員に選出した。最後に入江元会長・長田元会長・魚谷元会長、渡辺前会長を顧問に委嘱した。詳細は、会報第829号に掲載した。

2) 常任理事会及び理事会

令和7年3月までに常任理事会9回、理事会12回を開催し、日常会務の処理及び当面の重要問題の執行について協議を行った。なお、緊急を要する問題は必要により担当理事打合会を開催し、会務運営に万全を期した。また、理事会等の会議記録は、県医師会報及びホームページへの掲載を以て、会員へ概要の周知を図った。

3) 諸会議等の開催並びに出席状況

- 4月 4日 公開健康講座
- 7日 日本医師会学校保健講習会
- 11日 第1回理事会
 - 〃 四師会観桜会（鳥取県医師会担当）
- 16日 日本医師会理事会
- 18日 産業医部会運営委員会
- 25日 鳥取産業保健総合支援センター全体会議
 - 〃 保険医療機関指導計画打合会
 - 〃 生活保護法による指定医療機関個別指導県・鳥取市合同打合会
 - 〃 第1回常任理事会
- 27日 日本医師会第18回男女共同参画フォーラム
- 5月 2日 公開健康講座
- 9日 鳥取県保健事業団理事会
 - 〃 全国高等学校総合体育大会実行委員会総会
- 11日 日本医師会シンポジウム「未来ビジョン若手医師の挑戦」
 - 〃 吉川泰司教授就任記念祝賀会
- 15日 鳥取県医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会
- 16日 第2回常任理事会
- 17日 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
- 18日 中国四国医師会連合会長会議
- 20日 鳥取県公衆衛生協会理事会
 - 〃 鳥取県DMAT連絡協議会
 - 〃 医療情報研究会
- 21日 日本医師会理事会

- 5月 22日 第1回鳥取大学学長選考・監察会議
 25日 中国四国医師会連合医療保険分科会
 29日 都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会
 30日 鳥取県保健事業団評議員会
 // 監事会
 // 第2回理事会
- 6月 1日 松本吉郎先生日本医師会会長選挙対策本部事務所開き
 // 新型コロナウイルス感染症対策に係る鳥取県知事感謝状の贈呈式
 4日 令和15年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備委員会第2回総会
 // ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会第3回総会
 5日 全国医師会産業医部会連絡協議会
 6日 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会
 // 公開健康講座
 9日 シンポジウム「次世代の災害医療」（都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会）
 12日 都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会
 13日 ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎の夕べ～
 15日 第210回定例代議員会
 // 会員総会
 16日 鳥取県看護協会通常総会
 18日 日本医師会理事会
 20日 第3回理事会
 21日 中国四国医師会連合常任委員会・連絡会
 22日 日本医師会定例代議員会
 23日 日本医師会臨時代議員会
 24日 第2回鳥取大学経営協議会
 27日 鳥取県学校保健会理事会
- 7月 4日 公開健康講座
 // 鳥取県健康対策協議会理事会
 5日 日本医師会新会員情報管理システム中国四国ブロック説明会
 7日 第1回産業医研修会
 11日 鳥取県健康づくり文化創造推進会議
 // 鳥取県医療勤務環境改善支援センター運営協議会
 18日 鳥取県公衆衛生学会
 // 第4回理事会
 23日 日本医師会役員就任披露パーティー
 28日 鳥取県医学会（担当：中部医師会立三朝温泉病院）
 // 鳥取県健康対策協議会大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会
 30日 第3回鳥取大学経営協議会
- 8月 1日 公開健康講座
 // 第3回常任理事会
 3日 清水正人先生鳥取県医師会会長就任祝賀会
 6日 鳥取県健康対策協議会循環器病対策推進に関する小委員会（脳血管疾患関連）
 // 鳥取県健康対策協議会循環器病対策推進に関する小委員会（心血管疾患関連）
 8日 鳥取県健康対策協議会肺がん対策専門委員会
 // 鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会
 9日 日本医師会能登半島地震JMAT活動報告会（都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会）
 17日 中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会（岡山県医師会担当）
 22日 男女共同参画推進委員会

- 8月22日 鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会
 // 第5回理事会
 25日 中国地区学校保健・学校医大会（広島県医師会担当）
 28日 鳥取県地域医療支援センター運営委員会
- 9月 1日 第2回産業医研修会
 2日 鳥取県地域医療支援センター運営委員会
 5日 公開健康講座
 // 鳥取県糖尿病対策推進会議・鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会（合同会議）
 // 第4回常任理事会
 8日 糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会A
 9日 第3回鳥取大学学長選考・監察会議
 10日 鳥取県がん征圧大会
 12日 鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会
 13日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター第1回推進委員会
 16日 日本医師会かかりつけ医応用研修会
 17日 第1回都道府県医師会長会議
 19日 第4回鳥取大学経営協議会
 // 第4回鳥取大学学長選考・監察会議
 // 第6回理事会
 // 鳥取県健康対策協議会あり方検討委員会
 26日 公益法人立入検査
 // 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会
 28日 中国四国医師会連合常任委員会・分科会・特別講演Ⅰ
 29日 中国四国医師会連合総会・特別講演Ⅱ
 // 母体保護法指定医師研修会
- 10月 3日 公開健康講座
 // 学校医・園医部会運営委員会
 // 第5回常任理事会
 6日 日本医師会かかりつけ医応用研修会
 10日 アレルギー疾患医療連絡協議会
 // 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会
 // 鳥取県産業保健協議会
 11日 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会
 15日 日本医師会新会員情報管理システムMAMISへのデータ提供に向けた打合せ会
 // 鳥取県医療審議会医療法人部会
 17日 第7回理事会
 20日 鳥取県糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会B
 24日 産業保健活動推進全国会議
 // 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議（鳥取県8020運動推進協議会）
 26日 全国医師会勤務医部会連絡協議会
 28日 令和6年能登半島地震JMATロジスティクス協議会
 31日 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会
 // 鳥取県産業安全衛生大会
 // 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会
 // かかりつけ医と精神科医との連携会議
 // 鳥取県女性医師の会

- 1 1 月 1 日 日本医師会設立 77 周年記念式典並びに医学大会
 " 勤務環境改善に向けたトップマネジメント研修会
 3 日 第 3 回産業医研修会
 4 日 日本医師会かかりつけ医応用研修会
 " 女性医師支援・ドクターバンク連携中国四国ブロック会議
 " 中国四国医師会連合医事紛争研究会
 7 日 公開健康講座
 " 第 6 回常任理事会
 9 日 全国学校保健・学校医大会
 1 4 日 鳥取県教育委員会事務局との連絡協議会
 1 9 日 第 2 回都道府県医師会長会議
 2 1 日 鳥取県健康対策協議会若年者心臓検診対策専門委員会
 " 母体保護法指定医師審査委員会
 " 第 8 回理事会
 2 2 日 国民医療を守るための総決起大会
 2 4 日 糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会 C
 " 鳥取県健康対策協議会県民向け循環器病に関する講演会
 2 7 日 第 5 回鳥取大学経営協議会
 " 第 5 回鳥取大学学長選考・監察会議
 2 8 日 医療保険委員会
 2 9 日 心の医療フォーラム in 鳥取
- 1 2 月 1 日 鳥取県臨床検査精度管理調査報告会
 2 日 鳥取県がん診療連携協議会
 5 日 公開健康講座
 " 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
 " 第 7 回常任理事会
 6 日 鳥取県感染症対策連携協議会
 7 日 日本医師会家族計画・母体保護法指導者講習会
 " 鳥取県健康対策協議会循環器病に関する多職種連携従事者研修会
 1 2 日 鳥取県健康対策協議会疾病構造の地域特性対策専門委員会
 1 3 日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター労務管理セミナー
 " 都道府県医師会公益法人制度改革担当理事連絡協議会
 1 7 日 鳥取県国民医療推進協議会
 1 8 日 第 2 回鳥取県医療勤務環境改善支援センター推進委員会
 1 9 日 第 9 回理事会
 2 3 日 第 1 回鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会
 " 令和 7 年度全国高校総体鳥取県実行委員会宿泊衛生・輸送警備専門委員会
 2 6 日 鳥取県がん対策推進県民会議
- 1 月 9 日 公開健康講座
 " 第 10 回理事会
 " 鳥取県医療懇話会
 1 3 日 日本医師会 J M A T 研修基本編
 1 6 日 鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会
 " 鳥取県医療審議会
 " 鳥取県医療審議会医療法人部会
 1 8 日 鳥取県歯科医師会新年祝賀会
 1 9 日 全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会役員会

- 1月19日 全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会総会・中国四国医師会連合有床診療所研修会
20日 鳥取県医療安全推進協議会
21日 第3回都道府県医師会会長会議
22日 鳥取県ドクターヘリ運航調整委員会
23日 鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会
〃 鳥取県健康対策協議会あり方検討委員会
25日 心の医療フォーラム in 米子
〃 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会・評議員会
26日 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会
28日 鳥取県立病院評議会
29日 鳥取県版の産官学金労言士チームによる県民会議
〃 鳥取県心といのちを守る県民運動
〃 第6回鳥取大学経営協議会
〃 第6回鳥取大学学長選考・監察会議
30日 臨床検査精度管理委員会
〃 都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会
〃 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構研修委員会
31日 中国四国医師会連合事務局長会議
- 2月 2日 鳥取県健康対策協議会心臓検診従事者講習会
〃 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰式
〃 学校医・園医研修会及び鳥取県学校保健会研修会
6日 鳥取県ナースセンター事業運営協議会
〃 医学会の在り方検討委員会
〃 鳥取県社会福祉審議会
〃 鳥取県健康対策協議会地域医療研修及び健康情報対策専門委員会
〃 第8回常任理事会
〃 鳥取県看護協会役員との連絡協議会
7日 日本医師会ワークショップ「会員の倫理・資質向上を目指して」
8日 鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会・胃がん検診従事者講習会及び症例研究会
9日 鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会・子宮がん検診従事者講習会及び症例研究会
〃 日本医師会母子保健講習会
〃 日本医師会医療事故調査支援団体統括者セミナー
12日 鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会小委員会
〃 鳥取県健康対策協議会拡大新生児マスキング検査小委員会
〃 鳥取県救急搬送高度化推進協議会
13日 公開健康講座
〃 鳥取県健康対策協議会生活習慣病対策専門委員会
〃 鳥取県健康対策協議会公衆衛生対策専門委員会
15日 鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会・乳がん検診従事者講習会及び症例研究会
18日 鳥取県医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会
20日 第11回理事会
21日 日本医師会赤ひげ大賞表彰式・レセプション
22日 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会
〃 鳥取県健康対策協議会肺がん対策専門委員会・肺がん検診従事者講習会及び症例研究会
24日 日本医師会大規模イベント医療・救護研修会
26日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター推進委員会
〃 鳥取県健康対策協議会循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患関連）
27日 鳥取県健康対策協議会大腸がん対策専門委員会
28日 都道府県医師会事務局長連絡会

- 3月 1日 鳥取看護高等専修学校卒業式
 // 鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会・肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会
 2日 鳥取県糖尿病療養指導士認定試験
 6日 公開健康講座
 // 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定委員会
 // 鳥取県糖尿病対策推進会議・鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会(合同会議)
 // 鳥取県保健事業団理事会
 // 鳥取県訪問看護支援センター事業運営協議会
 // 禁煙指導対策委員会
 // 第9回常任理事会
 7日 学校検尿対策委員会
 8日 日本医師会医療情報システム協議会(9日迄)
 13日 鳥取県健康対策協議会総合部会
 // かかりつけ医と精神科医との連携会議
 // 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会
 14日 中国地方社会保険医療協議会総会
 // 鳥取医学雑誌編集委員会
 16日 日本医師会JMAT研修統括編
 17日 鳥取県医療審議会医療法人部会
 // 鳥取県医療審議会
 19日 都道府県医師会新たな地域医療構想・医師偏在対策担当理事連絡協議会
 21日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター運営協議会
 23日 日本医師会在宅医療シンポジウム
 24日 第7回鳥取大学学長選考・監察会議
 // 第7回鳥取大学経営協議会
 // 鳥取県地域医療対策協議会
 26日 都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会
 27日 第12回理事会
 // 会報編集委員会
 29日 中国四国医師会連合常任委員会・連絡会
 30日 日本医師会臨時代議員会

9 経理関係

1) 令和5年度歳入・歳出決算について

令和5年度決算並びに財産目録等について、令和6年5月30日、県医師会館において山崎・宮崎両監事による厳正な監査が行われ、いずれも適正妥当であったことが認められた。次いで、令和6年6月15日開催の第210回定例代議員会において承認された。

2) 令和6年度会費減免について

令和6年度会費減免は、令和5年度第12回理事会、令和6年度第4回理事会(追加分)において申請どおり承認された。減免申請の内訳は、次のとおりである。

会費免除会員…192名（高齢73名、研修医55名、その他特別の事由64名）

3) 令和7年度歳入・歳出予算について

令和7年度予算は、令和7年3月27日開催の第12回理事会において原案どおり承認された。令和7年4月1日から施行している。

また、本会特別会計については、下記の如く認められており、各予算はそれぞれの事業推進の費途に充てられている。

- 1 鳥取県医師会会館修繕積立金会計
- 2 生命保険取扱特別会計
- 3 鳥取県医療勤務環境改善支援センター事業会計

2. 医学教育の向上に関する事項

1 医学会

1) 鳥取県医学会（学会長：三朝温泉病院長 深田 悟先生）

令和6年7月28日、倉吉体育文化会館において本会主催、三朝温泉病院・中部医師会との共催で開催した。一般演題14題、専門医共通講習「医療において「倫理」が重要なのはなぜか？」（講師：鳥大医学部保健学科准教授 安藤泰至先生）、ランチョンセミナー（健対協大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会）「大腸の病理診断」（講師：県立厚生病院病理診断科部長 堀江靖先生）、日医認定産業医制度指定研修会「職員の腰痛対策」（講師：三朝温泉病院診療技術部長 理学療法士 山根隆治氏）を行った。出席者は90名。詳細は、会報第830号に掲載した。

2) 「鳥取医学賞」「鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」の授与

鳥取医学雑誌に投稿のあった論文の中から、鳥取医学雑誌編集委員会委員により優秀な論文を選定し、「第33回鳥取医学賞」に鳥取大学国際乾燥地研究教育機構 大谷眞二先生が鳥取医学雑誌第51巻1・2号に投稿された研究論文「鳥取県における熱中症救急搬送～5年間の集計結果より～」を、「第11回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」に智頭病院内科 實松 萌先生が鳥取医学雑誌第51巻3・4号に投稿された研究論文「悪性高血圧症、心不全および腎機能障害を発症後、脳梗塞を併発した高安動脈炎の1例」を授与した。受賞された2名の先生には、令和6年6月15日、ホテルニューオータニ鳥取において開催した「会員総会」の席上、講演していただいた。

3) 医学会の在り方検討委員会

令和7年2月6日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度鳥取県医学会開催報告（担当：三朝温泉病院）、(2)令和6年度鳥取県医学会アンケート集計結果、(3)令和6年度鳥取県医学会の振り返り、(4)令和7年度鳥取県医学会の開催計画などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第837号に掲載した。

4) 医療倫理委員会

会員から申請があった「看護師特定行為研修」について書面審査した結果、過半数の承認を得た。令和6年6月20日開催した第3回理事会において承認した。

3. 医学と関連科学との総合進歩に関する事項

1 医療安全対策

1) 医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」

令和6年12月8日、日医会館において開催された。会場での受講を申込みした場合、令和6年12月下旬から約3ヶ月間、e-learningによる受講も可とした。

2) 日本医師会医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」

令和7年2月9日、「支援団体としての具体的な支援の在り方」をテーマに開催され、瀬川副会長、花木県立厚生病院長、深田鳥大医学部附属病院看護師長がWebで出席した。3つのテーマ、(1)医療事故報告における判断への支援、(2)初期対応への支援、(3)調査報告書作成への支援について討議ポイントの説明があった後、グループ討議、まとめ・発表が行われた。

3) 鳥取県医療安全推進協議会

令和7年1月20日、県庁において開催され、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)鳥取県内の医療安全対策、(2)医療相談窓口の対応状況について報告があった。最近は苦情よりも相談が非常に増えている。その後、相談受付事例について協議が行われた。医療機関閉院後のカルテの開示請求に対する対応などについて意見を求められた。

2 鳥取医学雑誌の発行

令和6年に発行した医学雑誌は、第52巻1・2号（合併号）、3・4号（合併号）で、収載論文数は総数16編（内訳：総説2編、原著6編、症例報告5編、報告1編、記録2編）であった。

1) 鳥取医学雑誌編集委員会

令和7年3月14日、Webで開催した。議事として、(1)鳥取医学雑誌発行状況、(2)過去5年間の投稿状況について報告があった後、(1)鳥取医学雑誌52巻掲載内訳、(2)「第34回鳥取医学賞」「第12回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」候補論文の照会、(3)医学雑誌のペーパーレス化、(4)査読体制について協議を行った。詳細は、会報第838号に掲載した。

4. 医師の生涯研修に関する事項

1 日本医師会生涯教育制度の推進

昭和62年度より開始され、平成22年度に改正された日本医師会生涯教育制度について、下記のとおり参加した。

1) 令和5年度申告状況（日本医師会全国医師会研修管理システムを利用）

- ・単位取得者率：全県 68.3%（東部 67.1%、中部 76.1%、西部 66.3%、鳥大 50.0%）
（参考：令和4年度単位取得者率 65.7%）

令和6年10月1日付けで「学習単位取得証」が発行されたので、地区医師会経由で会員へ交付した。また、令和3年度・令和4年度・令和5年度の連続した3年間で、単位数＋カリキュラムコード数が合計60以上取得者に、令和6年12月1日付けで「日本医師会生涯教育認定証」が発行された（29名：有効期限3年間）。

2 日本医師会かかりつけ医機能研修の実施

1) 日本医師会かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会（Web講習会）

第1回目が令和6年9月16日、日医会館において開催された。医療機関や自宅等での視聴が困難な方に対して、第1回目に限り日医からのライブ配信を視聴できる座学会場（県医師会館）を設置して対応した。

第2、3回目はWebのみで開催され、第1回目の録画映像がライブ配信された。

- ・第2回：令和6年10月20日 ・第3回：令和6年11月3日

2) 都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会

令和7年3月26日、日医会館においてハイブリッドで開催され、三上常任理事がWebで視聴した。議事として、(1)かかりつけ医機能報告、(2)かかりつけ医機能報告制度にかかる研修、(3)かかりつけ医機能報告制度などについて説明がなされた。詳細は、会報第838号に掲載した。

3 日本専門医機構との連携

1) 専門医共通講習会

1. 令和6年7月28日 【医療倫理：1単位】

令和6年度鳥取県医学会 於：倉吉体育文化会館

演題：医療において「倫理」が重要なのはなぜか？

講師：鳥取大学医学部保健学科 准教授 安藤 泰至 先生

2. 令和6年9月29日 【医療安全：1単位】

令和6年度鳥取県医師会母体保護法指定医師研修会 於：鳥取県医師会館

演題：症例から学ぶ安心・安全な医療への取り組み

講師：鳥取県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員 岩部 富夫 先生

5. 医学、医療の国際交流に関する事項

1 鳥取大学等との連絡協調

国立大学法人鳥取大学との連携強化として関係する諸会議等が以下のとおり開催された。

1) 鳥取大学経営協議会

- (1) 令和6年4月16日付け、書面で開催され、渡辺会長が回答した。議事として、学長選考・監察会議委員の選出について審議が行われ、承認された。
- (2) 令和6年6月24日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)令和5年度決算、(2)学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦依頼について協議が行われた。
- (3) 令和6年7月30日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)学長候補資格者の推薦決定について協議が行われた。また、(1)令和7年度運営費交付金概算要求事項について報告があった。
- (4) 令和6年9月19日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)2024年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表について協議が行われた。また、(1)令和5年度業務実績報告書(概要)、(2)令和6年人事院勧告などについて報告があった。
- (5) 令和6年11月27日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)令和6年度第1次学内補正予算(案)、(2)令和6年人事院勧告対応について協議が行われた。また、令和6年度資金運用等について報告があった他、鳥取県内就職希望者への支援について討議がなされた。
- (6) 令和7年1月29日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。(1)令和7年度運営費交付金予定額の概要、(2)令和5事業年度における剰余金の翌事業年度への繰越にかかる承認等について報告があった他、鳥取大学の研究イノベーションによる地域貢献について討議がなされた。

2) 鳥取大学学長選考・監察会議

- (1) 令和6年5月22日、鳥取大学において開催され、渡辺会長が出席した。議事として、(1)学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦依頼、(2)学長候補者選考に係る公示等の方法、(3)意向調査管理委員会委員の推薦などについて協議が行われた。
- (2) 令和6年9月9日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。所信表明演説会、選考候補者との面談が行われた後、今後のスケジュールについて確認が行われた。令和6年9月11日から13日にかけて意向調査投票がオンラインで実施され、令和6年9月19日開催の第4回学長選考・監察会議において次期学長候補者を決定する。
- (3) 令和6年9月19日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)次期学長候補者の選考、(2)選考結果の公表について協議が行われた。
- (4) 令和6年11月27日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、次回の学長候補者選考に向けて改善を図るため、今回の学長候補者選考における検証及び課題の検討が行われた。
- (5) 令和7年1月29日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)学長の職務の評価について協議が行われた。

3) 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会

令和7年3月13日、Webで開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)地域医療学講座の活動実績、(2)鳥取県の総合診療専門医を育てるプログラムの現状と課題（総合診療医育成強化専門員について）、(3)地域枠学生に関して（キャリア支援ならびに卒前卒後のシームレスなマネジメント）などについて報告、協議が行われた。

4) 鳥取県地域医療支援センター運営委員会

令和6年9月2日、鳥大医学部において開催され、清水会長が出席した。主な議事として、医師不足病院等の把握・分析、同支援、医師確保奨学金とキャリア形成支援、広報事業の実施などについて協議が行われた。また、令和7年度医学部臨時定員、中山間地域を支える医療人材確保総合対策、「医師の働き方改革」への本県の対応状況について報告があった。

2 医学、医療の国際交流

1) IPPNW（核戦争防止国際医師会議）日本支部（JPPNW）への参画

全役員・3地区医師会長を登録しているが、令和6年11月21日開催の「第8回理事会」において全員から了承を得たため、令和6年度も更新した（会費年額1,500円）。

6. 公衆衛生の指導啓発に関する事項

1 公衆衛生活動への協力

関係団体との連携を図り、各種公衆衛生活動に協力した。

1) 鳥取県公衆衛生協会理事会

令和6年5月20日、テレビ会議で開催され、渡辺会長、岡田理事が出席した。議事として、(1)会則の改正、(2)次期役員の選出、(3)令和5年度事業報告及び収支決算案、(4)令和6年度事業計画及び収支予算案、(5)第64回鳥取県公衆衛生学会（7/18 ふれあい会館）、(6)第67回中国地区公衆衛生学会（8/22-23 岡山市）について協議が行われた。

2) 第64回鳥取県公衆衛生学会

令和6年7月18日、ふれあい会館において開催され、清水会長（県公衆衛生協会会長）が出席した。研究発表および特別講演「能登半島地震に対する急性期医療活動の戦略と明らかになった課題」（講師：鳥取大学医学部器官制御外科学講座教授 本間正人先生）が行われた。

3) 鳥取県公衆衛生協会機関紙「とっとり公衆衛生第75号」への寄稿

四師会の持ち回りで寄稿しており、令和6年度は本会の担当であった。秋藤常任理事（公益財団法人結核予防会鳥取県支部長）にお願いし、『古くて新しい感染症「結核」の最近の動向』と題して寄稿いただいた。

4) 鳥取県社会福祉審議会

令和6年10月21日、県庁において開催された。主な議事として、(1)「令和3年8月に児童養護施設で発生した児童自死事案に関する二次検証委員会」の設置及び二次検証の状況、(2)平成30年12月に発生した県立皆成学園入所児童の死亡事案の検証の状況について報告があった。

5) 鳥取県社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会

- (1) 令和6年9月6日、書面で行われ、小林 哲先生が回答した。審査内容は、(1)身体障害者法第15条第1項の規程による医師の指定10件、(2)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第64条の規程による指定自立支援医療機関の変更4件について審査が行われ、何れも適当であると認められた。
- (2) 令和7年2月27日、書面で行われ、辻田副会長が回答した。(1)身体障害者法第15条第1項の規程による医師の指定1件、(2)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第64条の規程による指定自立支援医療機関の変更4件、(3)身体障害者手帳交付申請の却下1件について審査が行われ、何れも適当であると認められた。

6) 鳥取県臓器・アイバンク理事会・評議員会

<理事会>

- (1) 令和6年6月5日、Webで開催され、魚谷顧問（理事長）、太田理事が出席した。議事として、(1)令和5年度事業報告及び収支決算、(3)令和5年度監査報告、(4)令和6年度収支補正予算、(5)評議員会の開催に伴う評議員の招集について承認された。

- (2) 令和6年7月12日、みなし決議で開催され、腎臓病に関する知識の普及啓発を行う団体への支援事業補助金交付決定について承認された。
- (3) 令和7年2月14日、Webで開催され、魚谷顧問（理事長）、太田匡彦先生が出席した。議事として、(1)令和7年度事業計画及び収支予算、(2)令和6年度収支補正予算、(3)評議員会の開催に伴う評議員の招集について承認された。

＜評議員会＞

- (1) 令和6年6月21日、Webで開催され、魚谷顧問（理事長）が出席した。議事として、(1)令和5年度事業報告案及び収支決算、(2)令和5年度監査報告、(3)令和6年度収支補正予算案について承認された。
- (2) 令和7年3月10日、Webで開催され、魚谷顧問（理事長）が出席した。議事として、(1)令和7年度事業計画及び収支予算、(2)令和6年度収支補正予算について承認された。

7) 鳥取県保健事業団理事会・評議員会

＜理事会＞

- (1) 令和6年5月9日、保健事業団において開催され、岡田常任理事（副理事長）が出席した。議事として、(1)令和5年度事業報告及び収支決算、(2)定時評議員会の招集について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。
- (2) 令和7年3月6日、保健事業団において開催され、岡田常任理事（副理事長）が出席した。議案として、(1)令和7年度事業計画及び収支予算、(2)中部健康管理センター施設内土地の活用、(3)役員賠償責任保険の加入について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

＜評議員会＞

令和6年5月30日、保健事業団において開催され、瀬川常任理事が出席した。議事として、令和5年度事業報告及び収支決算について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

2 健康づくり文化の創造推進

1) 鳥取県心といのちを守る県民運動

令和7年1月29日、県庁においてハイブリッドで開催され、秋藤常任理事の代理として栞原主事が出席した。議事として、(1)鳥取県自死統計、(2)鳥取県自死対策計画（第2次）、(3)各団体、各保健所における自死対策に向けた取り組み、(4)こども・若者の自死対策などについて報告、協議が行われた。

2) 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議

令和6年7月11日、県庁等においてハイブリッドで開催され、松田常任理事が出席した。「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）」の概要について報告の後、議事として、(1)令和6年度の事業説明（県・各団体）の取組内容、(2)「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）」期間中（R6～R11）の計画、(3)「鳥取県ココカラげんき応援隊」の概要、(4)「鳥取県フレイル予防対策専門委員会」の立ち上げについて協議が行われた。

3) 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議（鳥取県8020運動推進協議会）

令和6年10月24日、県庁においてハイブリッドで開催され、松田常任理事が出席した。議事として、(1)「歯と口腔の健康づくりとっとりプラン（第2次）」策定、(2)令和6年度歯科保健事業実施状況、(3)来年度事業案について報告、協議が行われた。

3 県民健康教育活動の展開

昭和55年9月より日本海新聞に掲載している「保健の窓」は計1,368回となった。また、平成6年2月より日本海新聞に掲載している「健康相談室『鳥取県医師会Q&A』」は計928回となった。

1) 鳥取県医師会公開健康講座・健康医療相談

平成3年4月、鳥取県医師会館（鳥取県健康会館）竣工に伴い、広く県民の健康教育を図るため、同年5月16日より毎月1回、第1木曜日の午後2時から午後3時30分まで（講演1時間・質疑応答30分）県医師会館において、「鳥取県医師会公開健康講座」を開催している。本講座は、平成7年度より鳥取県立生涯学習センターが行う「とっとり県民カレッジ・健康・スポーツコース」の連携講座として協力している。公開健康講座の広報は、日本海新聞「保健の窓」欄を利用して周知したほか、「とっとり市報」、各新聞社等へもPRしている。

また、毎月1～4週の各木曜日の午後1時30分から1時間実施している面談による健康医療相談は、第1週：精神科、第2・4週：内科、第3週：整形外科として実施した。

<本年度開催した公開健康講座>

第349回 令和6年4月4日（木）午後2時～3時15分 [聴講者71名]

「あなたの腸は絶好腸？～腸内に棲む細菌の不思議～」

鳥取県保健事業団理事長 秋藤洋一 先生

第350回 令和6年5月2日（木）午後2時～3時15分 [聴講者95名]

「頻尿と尿失禁～実は多くの人が悩んでいるトイレの問題～」

県立中央病院泌尿器科部長 川本文弥 先生

第351回 令和6年6月6日（木）午後2時～3時25分 [聴講者76名]

「とても身近な腎臓病の話」

県立中央病院医療局長・腎臓内科部長 宗村千潮 先生

第352回 令和6年7月4日（木）午後2時～3時40分 [聴講者40名]

「『鼻づまり』で困ること」

鳥取赤十字病院院長・耳鼻咽喉科部長 竹内裕美 先生

第353回 令和6年8月1日（木）午後2時～3時30分 [聴講者46名]

「糖尿病のあんな話、こんな話」

県立中央病院糖尿病・内分泌・代謝内科部長 檜崎晃史 先生

第 354 回 令和 6 年 9 月 5 日（木）午後 2 時～3 時 [聴講者 6 1 名]
「他人に話せない おしりの悩み」

池田外科医院院長 池田光之 先生

第 355 回 令和 6 年 1 0 月 3 日（木）午後 2 時～3 時 3 0 分 [聴講者 8 5 名]
「変形性膝関節症～快適な生活を得るためには～」

東京慈恵会医科大学整形外科学講座講師 林 大輝 先生

第 356 回 令和 6 年 1 1 月 7 日（木）午後 2 時～3 時 1 5 分 [聴講者 4 8 名]
「未来の健康づくりと総合診療」

鳥大医学部地域医療学講座特命助教 大塚裕真 先生

第 357 回 令和 6 年 1 2 月 5 日（木）午後 2 時～3 時 3 0 分 [聴講者 3 0 名]
「長引く咳～なぜ治らない？」

法勝寺内科クリニック院長 三上真顯 先生

第 358 回 令和 7 年 1 月 9 日（木）午後 2 時～3 時 2 5 分 [聴講者 4 9 名]
「イメージが変わる狭心症・心筋梗塞」

かげしま心臓血管・内科クリニック院長 影嶋健二 先生

第 359 回 令和 7 年 2 月 1 3 日（木）午後 2 時～3 時 1 5 分 [聴講者 4 8 名]
「認知症にまつわる新しい流れー生きやすさを求めてー」

倉吉病院院長 兼子幸一 先生

第 360 回 令和 7 年 3 月 6 日（木）午後 2 時～3 時 3 0 分 [聴講者 1 4 1 名]
「白内障手術について～手術を受けた眼科医の経験から～」

魚谷眼科医院院長 魚谷 純 先生

2) 健康相談室

日本海新聞に月 2 回（第 2 火曜、第 4 月曜日）、「医療・福祉特集紙面」に掲載した。

7. 地域医療の進展発展に関する事項

1 救急医療対策

1) 高度救命処置研修開催事業（補助事業）

鳥取県より、医師、看護師、救急救命士等を対象とした「高度救命処置研修開催事業」を委託され、平成18年度からは補助事業として実施している。メディカルコントロール協議会の中心となるJPTEC、ACLSの概念の理解を得て、鳥取県下のインストラクター・プレインストラクター等を養成することが目的である。

<JPTEC研修会>

- (1) 令和6年 7月15日 鳥取大学医学部：参加者数10人
- (2) 令和6年 9月 1日 鳥取県立福祉人材研修センター：参加人数12人
- (3) 令和6年12月 8日 三朝温泉病院：参加者数10人

<ACLS研修会>

- (1) 令和6年 6月23日 鳥取県立厚生病院：参加人数12人
- (2) 令和7年 1月26日 鳥取県立厚生病院：参加人数12人

2) 鳥取県救急搬送高度化推進協議会

- (1) 令和6年5月28日、Webで開催され、山崎監事が出席した。議事として、(1)鳥取県救急活動プロトコルに係る専門委員会の組織、(2)傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準に係る専門委員会の組織などについて協議が行われた。また、「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」に基づく救急搬送の実施状況について報告があった。
- (2) 令和7年2月12日、Webで開催され、山崎監事が出席した。議事として、(1)「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」の一部改正、(2)「鳥取県救急活動プロトコル」の一部改正について協議を行った。プロトコルの改正内容については、チラシ印刷や関係機関への改正通知等による周知を行った上で、令和7年4月から運用を開始する予定である。

3) 日本医師会シンポジウム「次世代の災害医療」（都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会）

令和6年6月9日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。第1部「災害を先取りする」、第2部「医療の安全を包含した未来のまちづくり」、第3部「命をまもる社会の仕組みづくり」がそれぞれ行われ、計13名の演者による講演のほか、演者と座長によるディスカッションが行われた。詳細は、会報第829号に掲載した。

4) 第40回日本救急医学会中国四国地方会評議員会

令和6年5月17日、広島市において開催された。議事として、(1)令和6年度予算の修正、地方会収支決算報告、(2)令和6年度地方会予算案、(3)役員の選出、(4)第42回地方会会長、(5)第43回地方会会長の選出などについて協議が行われた。

5) 鳥取県原子力災害医療機関等ネットワーク会議

令和6年8月6日、Webで開催され、事務局が出席した。議事として、(1)設置要綱、(2)原子力災害医療協力機関の登録（鳥取県診療放射線技師会）、(3)原子力災害医療基礎研修、甲状腺簡易測定研修の実施、(4)原子力災害医療活動訓練、(5)鳥取県原子力災害医療マニュアル（改正案）の概要などについて協議が行われた。

2 防災対策

1) 日本医師会 J M A T 研修

(1) 基本編

令和7年1月13日、日医会館においてハイブリッドにより開催され、池田常任理事、田中係長が現地にて出席した。各々がeラーニングによる事前学習を受講の上、(1)情報の共有と共有・記録、(2)被災地における活動、(3)日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有など、実習を中心としたプログラムで研修が行われた。詳細は、会報第836号に掲載した。

(2) 統括編

令和7年3月16日、日医会館においてハイブリッドにより開催され、來間理事が出席した。事前にeラーニングによる受講を済ませた上で、当日は(1)保健医療福祉調整本部の運営、コーディネート機能、(2)統括JMAT活動、(3)日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有などについて実習が行われた。

2) 能登半島地震 J M A T 活動報告会（都道府県医師会 J M A T 担当理事連絡協議会）

令和6年8月9日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。第一部「能登半島地震の対応とそこから得られた教訓」、第二部「これからの先遣JMAT、統括JMATの機能」、第三部「専門的な機関等との連携」の各テーマから構成され、報告とディスカッションが行われた。詳細は、会報第831号に掲載した。

3) 能登半島地震 J M A T ロジスティクス協議会

令和6年10月28日、Webで開催され、神戸課長、田中係長が出席した。日医事務局から主要事項の時系列説明と、5県医師会事務局から各業務における課題と改善提案があった後、ディスカッションが行われた。詳細は、会報第834号に掲載した。

4) 災害時小児周産期リエゾン養成研修

県立中央病院小児科 戸川雅子先生、同産婦人科 圓井孝志先生の2名がオンデマンド配信により講義を視聴した後、集合型研修、(1)令和6年11月3日、国立病院機構大阪医療センター、(2)令和7年3月9日、国立病院機構大阪医療センターに分散して出席した。出席者は、研修受講後、県災害医療コーディネーター（小児周産期担当）に委嘱される可能性がある。

5) 鳥取県 D M A T 連絡協議会

令和6年5月20日、Webで開催され、岡本事務局長、田中係長が出席した。議事として、(1)令和6年度災害医療に関する研修、訓練（令和6年度鳥取県・島根県DMAT隊員養成研修会）、(2)鳥取県災害医療コーディネーターの委嘱状況、(3)鳥取県DMAT運営要綱の改正、(4)鳥取県医療救護マニュアルについて協議が行われた。

6) 鳥取県防災会議

令和6年9月2日、県庁においてハイブリッドにより開催され、高岸主任が出席した。議事として、(1)鳥取県地域防災計画、鳥取県震災対策アクションプラン及び鳥取県広域住民避難計画の修正について協議が行われた。

7) 鳥取県国民保護共同実動・図上訓練

令和6年11月11日、事務局が参加した。平井知事以下、国や消防庁、自衛隊、鳥取・倉吉両市、医療機関など30機関が参加し、武装勢力が鳥取市に潜伏中との想定で、国民保護の行政手続きが避難誘導手順を確認した。実動訓練は、入院患者の搬送を想定し、県立中央病院に対策本部を設置し、患者の状態に合わせて搬送方法を考える情報処理班など4班に分かれて対応した。

8) 鳥取県ドクターヘリ運航調整委員会

令和7年1月22日、Webで開催され、事務局が出席した。議事として、(1)鳥取県ドクターヘリ運航要領の一部改正、(2)関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について報告、協議が行われた。

9) 公立豊岡病院ドクターヘリ運航調整委員会

令和7年3月12日、Webで開催され、事務局が出席した。

3 共同利用施設対策

1) 中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会

令和6年8月17日、ホテルグランヴィア岡山において開催され、福嶋理事が出席した。基調講演・シンポジウムの後、特別講演「日本医師会の医療政策」（講師：松本日医長）を拝聴した。詳細は、会報第831号に掲載した。

4 医師確保対策、女性医師対策、男女共同参画

1) 第6回ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎の夕べ～

令和6年6月13日、米子コンベンションセンターにおいて県臨床研修指定病院協議会との共催で開催し、講演「医師の働き方改革（ワークライフバランス）と医師会」（渡辺会長、來間理事）の後、「歓迎の夕べ」を行った。77名（うち研修医48名）の参加で、研修医からスピーチをしていただくなど、大変盛会で有意義な会であった。詳細は、会報第830号に掲載した。

2) 日本医師会シンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦”」

令和6年5月11日、Webで開催され、來間理事が出席した。当日は、(1)医療過疎地域で活躍する若手医師の取り組み「やぶ医者と過疎地医療」、(2)都道府県医師会役員として活躍する若手医師の取り組み「医師会が広げてくれた夢と働き方」、(3)メディアで活躍する若手医師の取り組み「若手の皆さん、恐れずにメディアで発信しよう」、(4)先輩医師から若手医師へのエール「To teach is to learn; 誓いをつなぐ」、(5)指定発言、(6)フロアを交えた意見交換が行われた。また、公式YouTubeチャンネルからライブ配信も行われ、後日公式YouTubeチャンネルに掲載された。詳細は、会報第828号に掲載した。

3) 日本医師会第18回男女共同参画フォーラム

令和6年4月27日、高松市において、「超高齢社会に向けての男女共同参画～人生100年時代における多様な医師の働き方～」をテーマに香川県医師会の担当により開催され、秋藤常任理事、来間理事が出席した。2題の基調講演、(1)日本医師会男女共同参画委員会、(2)女性医師支援センター事業報告が行われた。シンポジウムでは3名のシンポジストがそれぞれの立場から講演された後、総合討論が行われた。詳細は、会報第828号に掲載した。

4) 男女共同参画推進委員会

令和6年8月22日、県医師会館において開催した。議事として、(1)「Joy!しろうさぎ大賞」受賞候補者、(2)第6回鳥取県女性医師の会、(3)「Joy!しろうさぎ通信」について協議、各地区における活動報告や出張報告などを行った。詳細は、会報第831号に掲載した。

5) 鳥取県女性医師の会

令和6年10月31日、ANAクラウンプラザホテル米子において鳥大医学部附属病院との共催で開催した。創設2年目となる「Joy!しろうさぎ大賞」の授与式では山本一博先生（鳥大医師会員）を表彰した。詳細は、会報第834号に掲載した。

6) 日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携中国四国ブロック会議

令和6年11月4日、岡山市において開催され、秋藤常任理事、来間・福嶋両理事、紙本鳥取県地域医療支援センター特命助教が出席した。議事として、(1)日医女性医師支援センターからの報告事項、(2)各県医師会における取組み報告（ドクターバンク、女性医師支援）、(3)意見交換および問題提起が行われた。詳細は、会報第834号に掲載した。

7) 日本医師会女性医師バンクとの連携

日本医師会より依頼があった。本会ホームページにリンクするとともに、会報へ掲載し会員に周知した。

8) 医学生サマーセミナー（地域医療体験研修）への協力

令和6年8月1日～9月6日、鳥取県の地域医療に関心のある県内外の医学生を対象に県内医療機関において実施されたセミナーに協力した。

9) 医学生スプリングセミナー（地域医療体験研修）への協力

令和7年2月25日～3月28日、鳥取県の地域医療に関心のある県内外の医学生を対象に県内医療機関において実施されたセミナーに協力した。

10) 医業承継相談窓口の開設

令和5年10月、本会ホームページに「医療承継相談窓口」を開設した。相談の進め方は、(1)会報に掲載、(2)事業承継引継ぎ支援センターへの情報提供、(3)地区医師会及び病院への情報提供を基本方針としている。

5 地域医療対策

1) 鳥取県地域医療対策協議会

- (1) 令和7年3月24日、Webで開催され、廣岡理事（協議会長）、地区医師会長が出席した。議事として、(1)令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）、(2)令和8年度医学部臨時定員に係る増員申請方針案、(3)令和8年度臨床研修病院の研修医募集定員の配分方法案について協議が行われた。また、(1)第7次鳥取県保健医療計画の達成状況、(2)地域医療構想、(3)へき地医療拠点病院の指定、(4)令和7年度県派遣医師の配置について、(5)令和7年度医療人材確保対策の強化について、(6)鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定などについて報告があった。

2) 医療政策研修会及び地域医療構想アドバイザー会議

(1) 医療政策研修会

令和6年12月16日より厚生労働省 You Tube チャンネルにて研修動画が配信され、魚谷顧問が視聴した。

(2) 鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会全体会議及び医療提供部会合同会議（地域医療構想調整会議）

令和7年1月29日、東部医師会館においてハイブリッドで開催され、魚谷顧問が出席した。主な議事として、(1)東部圏域の医療提供体制の現状、(2)東部圏域の地域医療構想の推進、(3)2025年に向けた地域医療構想の更なる推進、(4)新たな地域医療構想、(5)地域医療介護総合確保基金、(6)紹介受診重点医療機関の協議などについて協議が行われた。

(3) 鳥取県中部保健医療圏地域保健医療協議会及び鳥取県中部圏域地域医療構想調整会議

令和6年11月18日、中部総合事務所においてハイブリッドで開催され、魚谷顧問が出席した。議事として、(1)地域医療構想に向けた国の検討状況、(2)圏域の医療提供体制、(3)紹介受診重点医療機関などについて協議が行われた。

(4) 鳥取県西部保健医療圏地域保健医療協議会（全体会議・医療提供部会）兼鳥取県西部圏域地域医療構想調整会議

令和6年12月4日、西部総合事務所においてハイブリッドで開催され、魚谷顧問が出席した。議事として、第8次鳥取県保健医療計画の策定について報告があった後、(1)西部圏域の地域医療構想の推進、(2)新たな地域医療構想に向けた、(3)令和6年度における紹介受診重点医療機関の選定などについて協議が行われた。

6 有床診療所対策

1) 鳥取県有床診療所協議会

平成22年5月9日に設立し、令和7年3月末現在の会員数は11名である。

2) 第1回全国有床診療所協議会総会

令和6年8月24～25日の2日間に亘り、「あきらめるな！有床診療所！！」をメインテーマに宇都宮市において開催され、特別講演、講演、報告、シンポジウム等が行われた。前身の全国有床診療所連絡協議会から一般社団法人に法人化されて第1回の総会となった。

3) 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会役員会

令和7年1月19日、岡山市において開催され、池田常任理事（鳥取県有床診療所協議会長）が出席した。議事として、(1)全国有床診療所連絡協議会中国ブロック会第16回総会等の運営、(2)役員改選結果、(3)第1回一般社団法人全国有床診療所協議会総会（栃木大会）について報告があった後、(1)会則変更、(2)令和7年度の日程について協議が行われた。

4) 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会第16回総会・中国四国医師会連合有床診療所研修会

令和7年1月19日、岡山市において開催され、池田常任理事（鳥取県有床診療所協議会長）が出席した。初めに、中国四国ブロック会総会議事が行われ、令和5年度事業報告及び収支決算報告、役員体制、会則変更についていずれも原案どおり承認された。引き続き、講演2題、(1)医師偏在対策等に関する最近のトピックス（講師：厚生労働省 和泉医師等医療従事者働き方改革推進室長・医師養成等企画調整室長）、(2)有床診療所の現状と課題～かかりつけ医機能報告制度と新たな地域医療構想への対応～（講師：松岡日医常任理事）が行われた。詳細は、会報第836号に掲載した。

8. 地域保健の向上に関する事項

1 健康診査管理指導事業対策

鳥取県健康対策協議会と共同で「がん対策」「若年者心疾患」を中心に事業を実施した。

1) 鳥取県がん対策推進県民会議

令和7年12月26日、テレビ会議で開催され、岡田常任理事が出席した。議事として、(1)第4次鳥取県がん対策推進計画、(2)75歳未満がん年齢調整死亡率、(3)全国がん登録のデータに基づくがん罹患の状況、(4)令和6年度鳥取県がんピアサポーター養成研修の実施について報告があった後、令和6年度がん対策推進計画アクションプランについて協議が行われた。

2) 鳥取県がん診療連携協議会

令和6年12月2日、鳥大医学部附属病院において開催され、清水会長、辻田副会長が出席した。議事として、(1)作業部会員の委嘱・解嘱、(2)各施設の実績と今後の計画及び各施設からの要望、(3)鳥取県からの連絡事項等について協議が行われた後、(1)令和6年度鳥取県がん診療連携協議会書面議決の結果、(2)第17回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告、(3)都道府県がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラム、(4)作業部会活動中間報告について報告があった。

3) 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会・評議員会

令和7年1月25日、岐阜市において開催され、清水会長が出席し、次回の第57回総会会長として挨拶を述べた。議事として、令和5年度事業報告・収支決算案、令和7年度事業計画案・収支予算案などについて報告・協議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

4) 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会

令和7年1月26日、岐阜市において開催され、清水会長、吉田泰之・橋田祐一郎両先生が出席した。会員総会では、議事として、令和5年度の事業報告・決算の承認、令和7年度事業計画・予算の決定・報告・協議が行われた後、最後に次期開催地の県医師会長として挨拶を述べた。総会後には、ワークショップ2テーマと特別講演2題が行われた。次回総会は、令和8年2月1日に鳥取市において開催する。

2 鳥取県臨床検査精度管理事業

1) 鳥取県臨床検査精度管理調査

令和6年度も9部門で実施した。基本参加費は主催2団体（県医師会、県臨床検査技師会）の会員施設1,000円、非会員施設5,000円で、参加1部門あたり1,000円とした。なお、平成22年度に始まった日本臨床衛生検査技師会による「日臨技精度保証施設認証制度」の申請条件として、都道府県の精度管理調査事業への参加が必須となっており、昨年度よりWebのみの申し込みになったことから、詳細な申込み手順を本会ホームページに掲載した。

2) 鳥取県臨床検査精度管理調査報告会

令和6年12月1日、西部医師会館において開催され、会長代理として辻田副会長が挨拶した。当日の報告会の要約を会報第835号へ掲載し、参加医療機関に報告書（CD-ROM）を配付した。

3) 臨床検査精度管理委員会

令和7年1月30日、Webで開催した。議事として、(1)令和6年度実施報告、(2)令和6年度報告会、(3)報告書の編集、(4)令和7年度事業に向けての課題等などについて報告、協議を行った。報告書のCDを参加施設及び配布希望のあった施設へ送付した。医師向けに要点をまとめた各検査項目の結果並びに詳細は、会報No.836号に掲載した。

4) 鳥取県・鳥取市精度管理専門委員会

- (1) 令和6年9月19日、Webで開催され、小林 哲先生が出席した。議事として、衛生検査所の現状について報告があった後、令和6年度衛生検査所立入検査の実施方針について協議が行われた。
- (2) 令和7年3月17日、Webで開催され、小林 哲先生が出席した。議事として、(1)衛生検査所の現状、(2)令和6年度鳥取県臨床検査精度管理調査結果について報告があった後、令和6年度衛生検査所立入検査等の結果について協議が行われた。

3 特定健診・保健指導への対応

1) 令和6年度特定健康診査・特定保健指導委託契約

令和6年4月1付けで鳥取県医師会と鳥取県の代表保険者である「健康保険組合連合会鳥取連合会」との間で締結した。特定健診委託料は、特定健診（基本健診 8,600 円、詳細健診：貧血 230 円、心電図 1,430 円、眼底 1,230 円、追加健診：クレアチニン 0 円、尿酸 0 円）、特定保健指導（動機付け支援 8,800 円、積極的支援 33,000 円）とした。

2) 特定健診受診率向上のための「みなし健診」実施にかかる国保連合会との契約

鳥取県国保連合会では、医療機関で検査された患者の同意のうえ、特定健診に関連する検査データの提供をいただく「みなし健診」の取り組みを行っており、市町村国保を取り纏める鳥取県国保連合会と鳥取県医師会が集合契約（委託料1件 3,500 円＋消費税）を締結した。

3) 特定健診受診率向上のための「みなし健診」実施にかかる協会けんぽとの契約

令和3年度より、協会けんぽにおいても、「みなし健診」を全県的に実施しており、本会との間で契約を結んでいる。取り組みについては、国保連合会との契約と同様であるが、医療機関で検査された患者の同意のうえ、特定健診に関連する検査データの提供をいただく。委託料も1件 3,500 円＋消費税と同様であるが、この事業への参加医療機関は、本会が取り纏めている集合契約に手上げをされた全医療機関が対象となる。

4) 後期高齢者医療における治療中の方の健康診査等情報提供「みなし健診」への協力

国保連合会と鳥取県医師会が委託契約を結び、令和5年度より後期高齢者医療においてみなし健診を実施した（市町村国保は令和2年度より実施済）。市町村国保のみなし健診と同じスキームで実施し、情報提供料も1件あたり 3,850 円（消費税込）と同額である。本会から全医療機関に周知を行うとともに、地区医師会へも理事会等での周知を依頼した。

4 地域保健活動の推進

1) 喫煙健康被害予防対策の取り組みについて

本会ホームページに「禁煙指導医・講演医」名簿を掲載したほか、次のとおり活動した。

2) 禁煙指導対策委員会

令和7年3月6日、テレビ会議で開催した。各地区より、(1)講習会の開催状況、(2)第18回日本禁煙学会学術総会等について報告があった後、(1)ニコチン依存症管理料に係る報告書集計結果（詳細は会報に掲載）、(2)鳥取県における禁煙対策・受動喫煙防止対策、(3)令和7年度禁煙指導医・講演医養成のための講習会などについて協議を行った。詳細は、会報第837号に掲載した。

3) 「禁煙指導医・講演医」養成のための講習会

地区医師会との共催により、次のとおり開催した。

[東部地区]

日 時 令和6年8月22日（木）午後7時～午後8時
場 所 東部医師会館（Zoom 併用ハイブリッド） 鳥取市富安
出席者 53名（医師37名、その他16名）
演 題 多職種で取り組もう！誰でもできる禁煙支援
講 師 愛知医科大学看護学部成人看護学教授 谷口千枝先生

[中部地区]

日 時 令和7年3月21日（金）午後7時～午後8時
場 所 中部医師会館 倉吉市旭田町
出席者 14名（医師14名）
演 題 依存症としてみる喫煙～子どもたちを守るためできること
講 師 スマホ依存防止学会（PISA）代表 予防医療研究所代表 磯村 毅先生

[西部地区]

日 時 令和7年2月14日（金）午後7時～午後9時
場 所 西部医師会館（Zoom 併用ハイブリッド） 米子市久米町
出席者 49名（医師33名、その他16名）
演 題 生活習慣病予防・治療としての禁煙支援～意欲を引き出す情報提供～
講 師 西伯病院長 長谷川純一先生

4) 中国四国厚生局に提出する「ニコチン依存症管理料に係る報告書」の情報提供

県内ニコチン依存症管理料届出医療機関宛に、8月に中国四国厚生局へ「ニコチン依存症管理料に係る報告書」を提出する際、同時に本会宛に写しのファックスをお願いしている。提供いただいた情報は、医療機関名等を匿名化の上、本会の事業のみに利用し、他の目的には使用しない。

5) 第18回日本禁煙学会学術総会

令和6年11月16日、米子コンベンションセンターにおいて開催され、清水会長が大会名誉会長として出席した（大会長：長谷川西伯病院長）。「受動喫煙のない日本へ」をテーマに、講演やシンポジウムが行われた。全国から約400人の医療・保険関係者が参加し、盛会であった。

5 鳥取県がん征圧大会

令和6年9月10日、米子コンベンションセンターにおいて、「がん検診 あなたの暮らしの習慣に」をスローガンに県・保健事業団・県医師会の主催で開催し、清水会長が挨拶をした。鳥取県がん対策従事者功労知事表彰と鳥取県保健事業団対がん事業功労者表彰の後、特別講演「ここまで進んだ肺がん診療～難治がんを征圧して健康寿命を延伸させよう～」(講師：鳥取県保健事業団参与西部健康管理センター・鳥取大学名誉教授 中村廣繁先生)を行った。詳細は、会報第832号に掲載した。

6 アレルギー対策事業(委託事業)

1) 鳥取県アレルギー疾患医療連絡協議会

令和6年10月10日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)アレルギー疾患対策、(2)鳥取県アレルギー疾患医療拠点病院における取組、(3)令和7年度アレルギー対策推進事業に係る予算、(4)とりネットによる情報発信などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第833号に掲載した。

7 糖尿病対策

鳥取県と委託契約を締結した「糖尿病予防対策連携強化事業」をもとに、下記のとおり推進会議を「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」との合同会議で開催し協議を行った。

なお、地域住民を対象とした「糖尿病予防講演会」および、かかりつけ医を対象とした「日常診療における糖尿病臨床講座」は、運営面について地区医師会へ協力依頼した。

1) 「鳥取県糖尿病対策推進会議」「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」 合同会議

- (1) 令和6年9月5日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)登録医の現況、(2)登録・更新の対象となる研修会、(3)地区からの報告があった後、(1)鳥取県糖尿病療養士認定機構、(2)世界糖尿病デーの実施について協議を行った。詳細は、会報第832号に掲載した。
- (2) 令和7年3月6日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度鳥取県糖尿病対策推進会議事業、(2)糖尿病連携パスの実施状況、(3)鳥取県糖尿病療養士認定機構、(4)鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進状況、(5)鳥取県保健医療計画の一部記載の変更について報告があった後、(1)令和7年度鳥取県糖尿病対策推進会議の活動(研修会の開催、市民向け糖尿病予防講演会、受診勧奨のチラシ案)、(2)鳥取県糖尿病療養士認定機構(令和7年度講習会および試験、認定更新)、(3)かかりつけ医療機関におけるインスリン依存状態の糖尿病患者数調査などについて協議を行った。また、その他として世界糖尿病デーライトアップイベント(鳥取県糖尿病協会)、令和6年度医科歯科連携推進事業の開催報告が行われた。詳細は、会報第838号に掲載した。

2) 鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度による登録

平成25年1月1日、鳥取県医師会ホームページ内に「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」のコンテンツを開設し、平成24年4月1日施行した「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」に基づき登録医の申請が出され、基準を満たしている医師を次のとおり登録した。

・東部30名、中部26名、西部73名(鳥大含む)、計129名(令和7年3月末日現在)。

3) World Diabetes Day in 鳥取 2024 鳥取県立美術館ブルーライトアップイベント (第14回)

令和6年11月14日、鳥取県立美術館において鳥取県糖尿病協会等の主催により開催された。本会としては、令和6年10月17日に開催した「第7回理事会」において名義後援を了承した。

4) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構

平成28年度から、かかりつけ医や地域保健指導の現場において質の高い糖尿病療養指導を行えるメディカルスタッフを育成していくことを目的に、鳥取県糖尿病対策推進会議の下部組織として鳥取県糖尿病療養指導士認定機構を設置し、鳥取県糖尿病療養指導士の育成、認定を行っている。主な事業は、年3回認定試験受験者のための講習会を東部・中部・西部地区（各1回）で開催後、全3回の講習会受講修了者に対して認定試験を実施し、試験合格者に鳥取県糖尿病療養指導士認定証を発行する。

(1) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構研修委員会

令和7年1月30日、Webで開催した。議事として、(1)令和6年度事業報告、(2)令和7年度鳥取県糖尿病療養指導士認定機構講習会、(3)鳥取県糖尿病療養指導士の認定更新、(4)災害時に備えた糖尿病患者の実数調査（アンケート）実施などについて報告、協議を行った。令和7年度の講習会の募集人員は30名程度とした。

(2) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定委員会

令和7年3月6日、テレビ会議で開催した。令和6年度の受験者は23名で、合格ラインを正答率7割とした結果、18名が合格し、鳥取県糖尿病療養士として認定した。また、今年度は平成29年度認定者（第2期生）の認定更新の年であり、14名が更新した。

(3) 講習会・認定試験

[講習会A]

日時 令和6年9月8日（日）午前9時50分～午後6時

場所 米子市文化ホール 米子市末広町

出席者 29名

内容

①糖尿病の現状と課題、その中で鳥取県糖尿病療養指導士が果たすべき役割

講師：住吉内科眼科クリニック 池田 匡先生

②糖尿病の概念、診断、成因

講師：住吉内科眼科クリニック 山本 玲先生

③糖尿病とメタボリックシンドローム、動脈硬化のリスクファクターの管理

講師：村上内科クリニック 村上 功先生

④糖尿病の治療総論、糖尿病の先進医療（インスリンポンプ・持続モニタリング）

講師：鳥取大学医学部 大倉 毅先生

⑤糖尿病の食事療法

講師：博愛病院 本多千鶴氏

⑥糖尿病の薬物療法（内服薬での治療）

講師：鳥取大学医学部附属病院 細田さとみ氏

⑦糖尿病の薬物療法（注射薬での治療）

講師：鳥取大学医学部附属病院 太田友樹氏

⑧糖尿病と歯科疾患・医科歯科連携

講師：デンタルサロン・ド・ブライツ院長 足本 敦氏

⑨糖尿病の細小血管障害（網膜症）・内科眼科連携

講師：鳥取大学医学部附属病院 馬場高志先生

⑩糖尿病の急性合併症

講師：山陰労災病院 宮本美香先生

[講習会B]

日 時 令和6年10月20日(日) 午前9時50分～午後4時50分

場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町317

出席者 28名

内 容

①ライフステージ別の療養指導①(乳幼児期、学童期、思春期)

講師：鳥取市立病院 長石純一先生

②糖尿病のその他の合併症

講師：鳥取県立中央病院 村尾和良先生

③糖尿病の大血管障害(動脈硬化性疾患) 講師：鳥取県立中央病院 吉田泰之先生

④糖尿病のフットケア

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

⑤糖尿病の細小血管障害(腎症)

講師：鳥取市立病院 久代昌彦先生

グループワーク①(血糖自己測定)

CDE-J 若干名

グループワーク②(インスリン注射)

同上

[講習会C]

日 時 令和6年11月24日(日) 午前9時50分～午後5時55分

場 所 エキパル倉吉 倉吉市上井195-12

出席者 26名

内 容

①糖尿病患者の心理と行動

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

②患者教育

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

③糖尿病の運動療法

講師：三朝温泉病院 山口洋司氏

④糖尿病の細小血管障害(神経障害)

講師：鳥取大学医学部 伊澤正一郎先生

⑤糖尿病の検査

講師：真誠会セントラルクリニック 内田智美氏

⑥ライフステージ別の療養指導②(妊婦・出産)

講師：鳥取県立中央病院 檜崎晃史先生

⑦ライフステージ別の療養指導③(就労期、高齢期)

講師：山陰労災病院 安東史博先生

⑧高齢糖尿病患者の社会支援の受け方

講師：鳥取県立中央病院 森次奈穂美氏

⑨特殊な状況・病態時の療養指導①(シックデー、周術期、栄養不良、旅行)

講師：博愛病院 藤岡洋平先生

⑩特殊な状況・病態時の療養指導②(災害対策、医療安全)

講師：鳥取大学医学部 谷口晋一先生

[認定試験]

日 時 令和7年3月2日(日) 午前10時30分～正午

場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町317

受験者 23名

合格者 18名(合格した18名に認定証を発行した)

8 環境対策

1) 都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会

令和6年5月29日、日医会館においてハイブリッドにより開催され、秋藤常任理事が出席した。医療行政の視点からは、第8次医療計画の中でも在宅医療需要の増加が予測され、医療廃棄物の適切な取扱い・処理について医師をはじめとする在宅医療に関わる全ての職種に加え、患者や家族にも在宅医療廃棄物への取扱いについて理解を深めてほしいとのことであった。鋭利なもの（注射針とか点滴針）は、医療関係者又は患者・家族が医療機関に持込み、感染性廃棄物として処理し、非鋭利なもの（チューブ、カテーテル類、ガーゼなど）は、一般廃棄物として市町村が処理し、市町村は医師会など関係団体と廃棄物処理について合意形成を図ることが重要である。

9 メンタルヘルス・自殺対策

1) かかりつけ医と精神科医との連携会議（委託事業）

- (1) 令和6年10月31日、Webで開催した。議事として、(1)令和5年度各地区うつ病対応力向上研修の振り返りと令和6年度の計画、(2)令和5年度精神医療関係者等研修（心の医療フォーラム）の振り返りと令和6年度の計画、(3)令和6年度鳥取県自死対策事業（県健康政策課）などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第834号に掲載した。
- (2) 令和7年3月13日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)令和6年度精神医療関係者等研修（心の医療フォーラム）の開催報告及び来年度の研修テーマ、(2)令和6年度各地区うつ病対応力向上研修の開催報告、(3)当県における自死対策の取り組みの振り返りと今後の展望、(4)かかりつけ医と精神科医との連携マニュアルの改訂、(5)精神保健福祉センターからの情報提供などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第838号に掲載した。

2) 精神医療関係者等研修「心の医療フォーラム」（委託事業）

- (1) 令和6年11月29日、とりぎん文化会館において、「多職種連携で取り組む地域における自殺予防～ハイリスク者への適切な介入および継続した支援のあり方～」をテーマに開催し、3名の講師によるパネルディスカッション、指定発言、総合討論を行った。参加者は47名。
- (2) 令和7年1月25日、ふれあいの里において、「地域で取り組む自殺予防～若年層への適切な介入および継続した支援のあり方～」をテーマに開催し、基調講演「大学キャンパスにおけるメンタルヘルス支援：世界で最も相談対応をしている大学からの報告」（講師：札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授 河西千秋先生）の後、4名の講師によるパネルディスカッション、指定発言、総合討論を行った。参加者は55名。

3) 鳥取県アルコール健康障害・依存症対策会議

令和7年3月21日、県庁において開催された。議事として、鳥取県アルコール健康障害・依存症対策推進計画に基づく令和6年度の実施状況及び令和7年度の実施予定について協議が行われた。

10 麻薬対策

1) 鳥取県薬物乱用対策推進本部会議

令和7年3月14日、県庁において開催され、安陪隆明先生（東部医師会員）が出席した。議事として、(1)鳥取県薬物乱用対策推進計画に基づく令和6年度の実施状況、(2)若年者等による市販薬過剰摂取（オーバードーズ）対策事業の実施状況について報告が行われた。

11 感染症対策

1) 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る鳥取県知事感謝状贈呈式

令和6年6月2日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、渡辺会長、秋藤常任理事が出席した。平井知事より渡辺会長に「鳥取県における新型コロナウイルス感染症対策に尽力した本会の功績」、秋藤常任理事に「個人の功績（鳥取県新型コロナウイルスワクチン接種健康被害調査委員会委員長）」として、それぞれ感謝状が贈呈された。

(2) 新型コロナウイルス感染症対応『日本医師会休業補償制度』

令和2年11月に制度発足し、令和7年1月1日に満期を迎えたが、契約の更新はせずに制度として一旦休止となった。

2) 日本医師会新興感染症対策研修

研修会の開催には50万円を上限に実費補助されることになった。地区医師会で開催される際は県医師会に事前申請していただく。

3) 鳥取県感染症対策連携協議会

令和6年12月6日、Webで開催され、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)鳥取県新型コロナウイルス等対策行動計画の改定、(2)鳥取県感染症予防計画の実施状況、(3)各種感染症の感染動向・予防接種に関する最新の動向について協議が行われた。

4) 子ども予防接種週間の実施協力

日本医師会は、例年どおり令和7年3月1日～7日までの7日間、子ども予防接種週間を実施した。昨年度同様、各医療機関に対して土・日曜日等に予防接種が受けられる体制づくり、予防接種に関する啓発等を協力依頼するとともに、地区医師会へ予防接種対策費を助成した。

5) 鳥取県定期予防接種広域化事業における5種混合（DPT-IPV-Hib）ワクチン追加に係る意向確認の実施

令和6年4月1日から定期予防接種に5種混合（DPT-IPV-Hib）ワクチンが追加されたことを受け、県感染症対策センターより医療機関のとりまとめ方依頼があった。県内166医療機関に意向確認した。

6) 感染症情報の周知

日本医師会感染症危機管理対策室及び鳥取県等から感染症に関する通知があり次第、本会メーリングリスト及びホームページ「感染症情報」に掲載し会員へ周知した。なお、各医療機関への即時性を求める情報の場合は、ファックスで全医療機関に周知するとともに、会報掲載もした。

12 学校保健対策

1) 学校医・園医研修会及び県学校保健会研修会

令和7年2月2日、倉吉体育文化会館において開催し、講演「学校が楽しくない（鳥取県の現実とその対応）」（講師：鳥取市立病院小児科診療局長 長石純一先生）を行った。本会指定学校医研修単位は10単位。

2) 日本医師会学校保健講習会

令和6年4月7日、日医会館において開催され、5名の講師による講演が行われた。当日の様子を収録した動画が後日日医ホームページメンバーズルームで公開された。

3) 日本医師会母子保健講習会

令和7年2月9日、日医会館において開催され、松田常任理事が出席した。「出産から育児までの健康管理」をテーマに4題の講演と討議が行われた。詳細は、会報第837号に掲載した。

4) 第55回全国学校保健・学校医大会

令和6年11月9日、宮崎市において、「未来ある子ども達のために、いま学校医ができること」をメインテーマに宮崎県医師会の担当で開催され、清水会長、松田常任理事が出席した。午前に5つの分科会「からだ・こころ（1～3）」「耳鼻咽喉科」「眼科」が行われ、午後は開会式・表彰式に引き続き、(1)シンポジウム「学校医の魅力、やりがいとは何か ～現状と課題を踏まえて～」、(2)特別講演などが行われた。詳細は、会報第834号に掲載した。

5) 全国学校保健・学校医大会「都道府県医師会連絡会議」

令和6年11月9日、宮崎市において開催され、清水会長が出席した。次期担当県が神奈川県医師会に決定した。

6) 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会

令和6年9月28日、岡山市において開催され、辻田副会長・岡田・松田両常任理事、尾崎監事が出席した。日医より渡辺常任理事をコメンテーターに迎え、岡山県から提示された3議題及び各県から提出された日医への要望4題について活発な議論が行われた。詳細は、会報第833号に掲載した。

7) 中国地区学校保健・学校医大会

令和6年8月25日、広島市において広島県医師会の担当により開催され、辻田副会長、松田常任理事が出席した。中国地区各県医師会からの研究発表と特別講演2題、(1)「不登校」の多様性とこれから（講師：医療法人向洋こどもクリニック あおさきこども心療所院長 梶梅あい子先生）、(2)学校保健の課題と対応（講師：日医常任理事 渡辺弘司先生）が行われた。詳細は、会報第831号に掲載した。

8) 学校検尿対策委員会

令和7年3月7日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度学校検尿検査結果、(2)令和7年度から始まる県立高校生徒の学校検尿陽性者事後措置の準備状況等について報告があった後、(1)県立高校の学校検尿の事後措置体制、(2)小中学生用の受診票、(3)検査項目、(4)委員構成、(5)研修会などについて協議を行った。詳細は、会報第838号に掲載した。

9) 全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会設立総会

令和6年5月9日、県庁において開催され、渡辺会長が出席した。議事として、大会概要、経過報告、鳥取県開催基本構想などについて報告があった後、会則案及び委員会構成案、専門委員会会則案及び常任専門委員会委員案、事務局規程案、令和6年度事業計画案及び収支予算案などについて協議が行われた。

10) 鳥取県医師会指定学校医制度

平成27年度より開始した本制度であるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により研修機会が十分に得られなかったことに鑑み、有資格者すべての更新期限を令和3年度末まで延長した。加えて、以降は3年毎に更新時期を統一することで、今後は全員が同じ条件の下で単位を取得できるよう要綱を改訂した。

11) 鳥取県学校保健会

(1) 鳥取県学校保健会定例理事会

令和6年6月27日、県医師会館においてハイブリッドで開催され、鳥取県学校保健会長として清水会長が出席した。議事として、(1)役員選出、(2)令和5年度事業報告、(3)令和5年度収支決算、(4)令和6年度事業計画案、(5)令和6年度収支予算案<養護教諭部会からの要望>、(6)学校環境衛生検査器具の維持・管理について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。また、(1)各部会（保健体育主事部会、養護教諭部会）の事業及び会計報告、(2)鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰について報告があった。

(2) 学校医・園医部会運営委員会

令和6年10月3日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和5年度学校医・園医部会事業、(2)中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会、(3)中国地区学校保健・学校医大会、(4)第55回全国学校保健・学校医大会、(5)学校医・園医研修会、(6)鳥取県医師会・鳥取県教育委員会連絡協議会などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第833号に掲載した。

(3) 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰審査会

清水会長（鳥取県学校保健会長）以下10名の審査員による審査（書面議決）により全員の承認を得たことから、学校医6名（東部1名、中部1名、西部4名）、学校歯科医2名、学校薬剤師4名、養護教諭3名の計15名を被表彰者として決定した。

(4) 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰式

令和7年2月2日、倉吉体育文化会館において開催され、鳥取県学校保健会長として清水会長が出席し、被表彰者15名に表彰状等を授与した。

(5) 新規採用養護教諭研修への講師派遣

令和6年9月5日、エースバック未来中心において開催された研修会の講師として岡本 賢先生（中部医師会員）を推薦した。

13 健康スポーツ対策

1) 日本医師会認定健康スポーツ医

平成3年度より発足した日本医師会認定健康スポーツ医は、令和7年3月末現在51名である。
令和6年度の新規申請者は1名、更新申請者は4名（東部2名、西部2名）であった。

2) 日本医師会健康スポーツ医学講習会

〔日本医師会主催〕日本医師会Web研修システムにて開催

前期：令和6年11月3日・4日 後期：令和6年11月23日・24日

その他、日本体育協会公認スポーツドクター養成講習会受講者の推薦依頼があったので、受講希望のあった会員を報告した。

3) 日本医師会健康スポーツ医学再研修会

(1) 第4回とりだい病院スポーツ医科学センター講演会（1単位）

日 時 令和7年2月22日

場 所 米子コンベンションセンター

出席者 7名（県内6名、県外1名）

内 容 (1)35歳からのリスタート パラスポーツで人生を変えた

森 卓也氏（2024 パリパラリンピック ローイング8位入賞）

(2) 第24回鳥取臨床スポーツ医学研究会（2単位）

日 時 令和7年3月8日

場 所 国際ファミリープラザ

出席者 27名（県内26名、県外1名）

内 容 (1) 腰椎分離症のマネジメントー 発育期から成人期までー

福島県立医科大学スポーツ医学講座特任教授 加藤 欽志先生

(2) 生涯スポーツの継続を目指した膝周囲骨切り術および術後の
リハビリテーション

春江病院整形外科関節温存・スポーツ整形外科センター

センター長 中村 立一先生

(3) 第44回東部医師会健康スポーツ医学講演会（1単位）

日 時 令和7年3月12日

場 所 東部医師会館

出席者 14名（県内14名）

内 容 (1) スポーツと食事 ～食べたものでしか身体は作られない～

清水病院 栄養管理室 山田 恭子氏

14 産業保健対策

1) 日本医師会認定産業医

平成2年度に発足した「日本医師会認定産業医制度」による認定産業医は、令和7年2月末現在342名（東部129名、中部53名、西部152名、鳥大8名）である。また、令和6年度の新規申請者は10名（東部4名、中部1名、西部2名、鳥大3名）、更新申請者は81名（東部30名、中部12名、西部34名、鳥大2名、コロナ特例3名）であった。

2) 産業医部会運営委員会

令和6年4月18日、鳥取労働局、鳥取産保総合支援センターに参集いただき、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画案、(2)鳥取産保総合支援センター事業、(3)令和6年度の産業保健事業（鳥取労働局）などについて協議を行った。令和6年度の産業医研修会は、各地区で基礎研修と生涯研修の合同とし、基本テーマを「メンタルヘルス（ストレスチェック）」「熱中症対策」「復職支援」「働き方の多様性」「LGBTQ+」「化学物質の自律的管理」「健康診断事後指導（食事・栄養指導を含む）」とした。詳細は、会報第827号に掲載した。

3) 全国医師会産業医部会連絡協議会

令和6年6月5日、日医会館においてハイブリッドで開催され、尾崎鳥大医学部環境予防医学分野教授、秋藤常任理事、福島中部医師会副会長、後藤東部医師会理事が出席した。厚生労働省からの中央情勢報告、「認定産業医制度における生涯研修会の積極的開催に向けた実務支援」をテーマとしたシンポジウム、沖縄県医師会からの事例報告、協議が行われた。詳細は、会報第829号に掲載した。

4) 第45回産業保健活動推進全国会議

令和6年10月24日、日医会館においてハイブリッドで開催され、尾崎鳥大医学部環境予防医学分野教授、福島理事、地区医師会担当理事等が出席した。2つのセンターより、産業保健総合支援事業に関する活動事例報告が行われた後、「産業医の資質向上に向けた研修会の開催」をテーマとしたシンポジウム、日医認定産業医制度における説明・報告、協議が行われた。詳細は、会報第833号に掲載した。

5) 産業医研修会

鳥取県医学会（生涯研修・専門）1単位）

日 時 令和6年7月28日（日）午後2時35分～午後3時35分
場 所 倉吉体育文化会館 倉吉市山根
出席者 認定産業医16名
内 容 「職員の腰痛対策」 三朝温泉病院診療技術部長理学療法士 山根隆治氏

基礎研修（実地1単位・後期4単位）&生涯研修（更新1単位・実地1単位・専門3単位）

- (1) 日 時 令和6年7月7日（日）正午～午後5時15分（開始前にHPVワクチンのキャッチアップ接種について説明あり）
場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町
出席者 119名〔認定産業医113名、未認定産業医6名〕
内 容 (1) 労働安全衛生行政の動向について
鳥取労働局労働基準部健康安全課 大内崇徳 課長
(2) 職場のメンタルヘルス対策について
内田労働衛生コンサルタント事務所長 内田和彦 先生
(3) 職場における受動喫煙防止について
日本労働安全コンサルタント会鳥取支部 高野雅弘 支部長
田中安全衛生コンサルタント事務所代表 田中 誠 氏
(4) 化学物質管理を巡る現状と今後の対策
鳥取産業保健総合支援センター相談員（産業医学担当） 村田勝敬 先生

(5) 職場の熱中症対策

鳥取大学国際乾燥地研究教育機構准教授 大谷眞二 先生

(2) 日 時 令和6年9月1日(日) 正午～午後5時15分(開始前にHPVワクチンのキャッチアップ接種について説明あり)

場 所 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町

出席者 84名[認定産業医79名、未認定産業医5名]

内 容 (1) 労働安全衛生行政の動向について

鳥取労働局労働基準部健康安全課 大内崇徳 課長

(2) 職場のメンタルヘルス対策について

鳥取大学医学部精神行動医学分野講師 山梨豪彦 先生

(3) 職場における受動喫煙防止について

日本労働安全コンサルタント会鳥取支部 高野雅弘 支部長

田中安全衛生コンサルタント事務所代表 田中 誠 氏

(4) 職場のLGBTQ+の対応について

鳥取大学医学部環境予防医学分野特命助教 金 弘子 先生

(5) 化学物質管理を巡る現状と今後の対策

鳥取産業保健総合支援センター相談員(産業医学担当) 村田勝敬 先生

(3) 日 時 令和6年11月3日(日) 11時30分～午後4時45分

場 所 エースバック未来中心 倉吉市駄経寺町

出席者 46名[認定産業医43名、未認定産業医3名]

内 容 (1) 労働安全衛生行政の動向について

鳥取労働局労働基準部健康安全課 大内崇徳 課長

(2) 労働者のメンタルヘルス対策について

倉吉病院院長 兼子幸一 先生

(3) 職場における受動喫煙防止について

日本労働安全コンサルタント会鳥取支部 高野雅弘 支部長

田中安全衛生コンサルタント事務所代表 田中 誠 氏

(4) 職場のLGBTQ+の対応について

鳥取大学医学部環境予防医学分野特命助教 金 弘子 先生

(5) 化学物質管理を巡る現状と今後の対策

鳥取産業保健総合支援センター相談員(産業医学担当) 村田勝敬 先生

6) 鳥取県産業保健協議会

令和6年10月10日、ホテルモナーク鳥取において開催した。議事として、(1)医師会における産業保健活動、(2)鳥取産業保健総合支援センターの運営状況ほか、(3)働き盛り世代の健康づくりの取組、(4)エイジフレンドリーガイドライン、(5)二次健康診断等給付制度などについて報告、協議が行われた。詳細は、会報第833号に掲載した。

7) 鳥取県地域産業保健事業

平成26年度より産業保健を支援する3つの事業(地域産業保健事業、産業保健推進センター事業、メンタルヘルス対策支援事業)が一元化され、「産業保健活動総合支援事業」として鳥取産業保健総合支援センターが実施主体となり、地区医師会等の協力のもと、事業が運営されている。

各地域産業保健センターでは、地区医師会長が代表となり、地域運営主幹（産業保健担当理事）、コーディネーターを配置し、登録産業医等が健康相談を実施している。また、全県及び各地区運営協議会が開催され、関係機関との連携及び運営等について検討している。

8) 鳥取県地域両立支援推進チーム会議

令和6年8月30日、鳥取労働局においてハイブリッドで開催され、秋藤常任理事が出席した。議事の中で、産業医研修会を通して講演、啓発活動をしていることなど、治療と仕事の両立支援に関する県医師会の取り組み状況を報告した。また、令和6年度の取り組みについて労働局から説明があり、「治療と仕事の両立支援ナビ」の医療機関情報の更新等を行ったほか、今後、厚労省委託事業としてシンポジウムやオンラインセミナーのライブ配信、県産保センターとの共催で事例検討会等を予定しているとのことであった。

9) 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会・全体会議

【運営協議会】

令和6年10月10日、ホテルモナーク鳥取において開催され、清水会長、秋藤常任理事が出席した。運営協議会長に清水会長、運営協議副会長に平川労働局長が選任された後、議事として、令和6年度事業実施状況などについて報告が行われた。

【全体会議】

令和6年4月25日、テレビ会議で開催され、渡辺会長（運営協議会長）、秋藤常任理事が出席した。議事として、令和5年度事業実施状況及び令和6年度事業予定について報告、協議が行われた。

10) 鳥取産業保健総合支援センター主催の研修会

センター主催、県医師会共催による産業医研修会を下記のとおり開催した。本会から日医認定産業医制度指定研修会として申請し、承認を受けた。

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

日 時 令和6年6月23日（日）午後1時30分～午後3時30分

場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 認定産業医29名

内 容 （1）働き方改革について

鳥取県医療勤務環境改善支援センター

医療労務管理アドバイザー 西山理一 氏

（2）医師による長時間労働の面接指導について

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 黒沢洋一 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

日 時 令和6年7月15日（月）午後1時30分～午後3時30分

場 所 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町

出席者 認定産業医10名

内 容 （1）働き方改革について

鳥取県医療勤務環境改善支援センター

医療労務管理アドバイザー 西山理一 氏

（2）医師による長時間労働の面接指導について

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 松浦喜房 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：2単位）

日 時 令和6年8月29日（木）午後2時～午後4時

場 所 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町

出席者 認定産業医9名

内 容 職場におけるメンタルヘルスについて ～メンタル不調者への対応～

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 岡田浩子 先生

産業保健研修会（生涯研修・実地：2単位）

日 時 令和6年10月24日（木）午後2時～午後4時

場 所 株式会社寺方工作所 東伯郡北栄町

出席者 認定産業医7名

内 容 職場巡視の実際

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 高野雅弘 氏

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

1) 日 時 令和6年11月21日（木）午後2時～午後4時

場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 認定産業医11名

内 容 (1)騒音障害防止のためのガイドラインの改訂について

鳥取労働局健康安全課 地方衛生専門官 半田謙一 氏

(2)職場における騒音による健康障害

山陰労災病院 院長補佐 杉原三郎 先生

産業保健研修会（生涯研修・実地：2単位）

日 時 令和6年12月15日（日）午後2時～午後4時

場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 認定産業医15名

内 容 石綿関連疾患診断技術研修読影研修

岡山水清会病院 院長 岸本卓巳 先生

浜松労災病院呼吸器内科 部長 豊嶋幹生 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：2単位）

日 時 令和6年12月19日（木）午後2時～午後4時

場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 認定産業医13名

内 容 治療と仕事の両立支援にかかる現状と課題

中国労災病院治療就労両立支援センター 所長 豊田章宏 先生

11) 第49回鳥取県産業安全衛生大会

令和6年10月31日、米子市文化ホールにおいて鳥取県労働基準協会並びに本会等の主催で開催され、会長代理として辻田副会長が出席した。大会席上、永年産業医功労により越智 寛先生、來間美帆先生に鳥取県医師会長表彰を授与した。大会では活動事例発表、特別講演等が行われた。

9. 保険医療の充実に関する事項

1 医療保険制度対策

1) 鳥取県後期高齢者医療広域連合への協力

「服薬情報通知事業」「ジェネリック医薬品差額通知事業」について本会宛に周知依頼があった。会報第 831 号に掲載し会員へ周知した。

2) 鳥取県後期高齢者医療懇話会

令和 6 年 8 月 7 日、湯梨浜町中央公民館において開催された。議事として、(1) 令和 5 年度後期高齢者医療制度の実施状況、(2) 令和 6 年度鳥取県後期高齢者医療広域連合事業計画、(3) 第 3 期データヘルス計画、(4) 保険証の廃止、(5) 令和 6 年度鳥取県高齢者健康づくり推進大会について報告、協議が行われた。会議概要は、鳥取県後期高齢者医療広域連合事務局ホームページに掲載されている。

3) 鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会

令和 7 年 1 2 月 2 3 日、県庁において開催され、来間理事が Web で出席した。議事として、第三期鳥取県医療費適正化計画の実績評価について協議が行われた。

4) 鳥取県が実施する重複・多剤対策事業

県医療・保険課では、令和 2 年度より重複・多剤服用者（対象：国保被保険者）に対して服薬情報通知を行い、薬局・医療機関に相談するよう促している。患者等から医療機関に相談等があった際には、患者の服薬状況の確認や適切な処方・調剤等について対応をお願いする。詳細は、会報第 832 号に掲載した。

5) 鳥取県国民健康保険運営協議会

令和 7 年 2 月 1 4 日、鳥取市福祉文化会館において開催され、皆川幸久先生（東部医師会員）が出席した。議事として、(1) 保険料水準の統一、(2) 第 3 期鳥取県国民健康保険運営方針案、(3) 令和 7 年度納付金の算定方法などについて協議が行われた。

2 医療保険対策

1) 医療保険委員会

令和 6 年 1 1 月 2 8 日、県医師会館において開催した。全医療機関を対象として行った事前アンケートから寄せられた 1 2 件の「支払基金および国保連合会の審査に対する要望事項」についてそれぞれ回答が述べられた後、協議を行った。今回の要望事項と回答は、会報第 835 号「医療保険のしおり」に掲載した。なお、過去に協議済みの要望事項は、基本的に各地区医師会で議題を取りまとめる段階で、これまでの記録を参考に各地区で対応いただいた。詳細は、会報第 834 号に掲載した。

2) 中国四国医師会連合医療保険分科会

令和 6 年 5 月 2 5 日、高松市において香川県医師会の担当により開催され、瀬川・三上・秋藤各常任理事が出席した。中国四国医師会連合が令和 6 年度診療報酬改定に対し要望していた 1 0 項目について日医社会保険診療報酬検討委員会の中国四国ブロック代表委員である高知県医師会

常任理事 久 明史先生より 7 項目の反映結果が報告された後、各県から提出された令和 6 年度診療報酬改定に対して意見交換を行った。詳細は、会報第 828 号に掲載された。

3) 保険医療機関指導計画打合せ

令和 6 年 4 月 25 日、県医師会館において開催され、渡辺会長、清水・小林両副会長、各常任理事が出席した。議事として、(1)令和 5 年度指導結果、(2)指導対象保険医療機関の選定、(3)令和 6 年度指導計画などについて報告、協議が行われた。高点数の保険医療機関の個別指導は、令和 6 年度の対象のうち令和 3 年度に高点数の保険医療機関として選定されていたものののみ実施した詳細は、会報第 828 号に掲載した。

4) 生活保護法による指定医療機関個別指導 県・鳥取市合同打合せ

令和 6 年 4 月 25 日、県医師会館において開催され、渡辺会長、清水・小林両副会長、各常任理事、尾崎東部医師会副会長が出席した。議事として、(1)令和 5 年度実施結果、(2)令和 6 年度実施計画案、(3)医療扶助の適正化等などについて報告、協議が行われた。令和 6 年度の対象医療機関は、県で 11 病院（一般科 9、精神科 2）と 3 診療所、鳥取市で 3 病院（一般科 2、精神科 1）と 1 診療所（一般科）が予定された。詳細は、会報第 828 号に掲載した。

5) 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）にかかる説明会

下記のとおり各地区医師会において開催し役員が進行を務めた。長谷中国四国厚生局鳥取事務所長より、「外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の算定」について説明が行われた後、質疑応答を行った。

- ・東部：6 月 18 日（火）東部医師会館（出席者 24 人）＜瀬川副会長＞
- ・中部：6 月 17 日（月）中部医師会館（出席者 13 人）＜福嶋理事＞
- ・西部：6 月 14 日（金）西部医師会館（出席者 22 人）＜辻田常任理事＞

6) 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会

令和 6 年 6 月 6 日、令和 6 年度診療報酬改定で新設されたベースアップ評価料と医療 D X 推進体制整備加算に特化した説明会が W e b で開催され、瀬川・三上・秋藤各常任理事が出席した。眞鍋馨厚労省保険局医療課長より、賃金改善計画書用計算ツールの使用方法について動画による解説、医療 D X 推進体制整備加算の届出に関する説明があった後、長島常任理事から、シンプルに対応する一例やその際の賃金規程記載例などが紹介された。詳細は、会報第 829 号に掲載した。

7) 中国地方社会保険医療協議会総会

令和 7 年 3 月 14 日、中国四国厚生局鳥取事務所においてハイブリッドで開催され、清水会長が出席した。議事として、保険医療機関の指定の取消しおよび元保険医療機関への対応について協議が行われた。

8) 指導・監査等の立会い

各地区で実施された指導に役員が立会い、理事会で内容を報告し、概略を会報に掲載した。

〔健保 新規個別指導〕

- 令和 6 年 5 月 16 日＜西部 2 医療機関＞：辻田常任理事
- 令和 6 年 5 月 16 日＜西部 2 医療機関＞：來間理事
- 令和 6 年 11 月 7 日＜西部 1 医療機関＞：來間理事
- 令和 7 年 2 月 6 日＜東部 1 医療機関＞：瀬川副会長

令和7年 2月20日＜西部1医療機関＞：山崎理事

[健保 個別指導]

令和6年 8月 1日＜西部2医療機関＞：山崎理事

令和6年10月31日＜西部2医療機関＞：三上常任理事

令和6年 8月29日＜中部1医療機関＞：松田常任理事

令和6年11月14日＜西部1医療機関＞：山崎理事

3 介護保険対策

1) 第9期鳥取県介護保険事業支援計画・老人福祉計画策定・推進委員会

令和6年11月19日、倉吉体育文化会館において開催され、乾 俊彦先生（東部医師会員）が出席した。議事として、(1)令和5・6年度の介護保険事業支援計画・老人福祉事業実施状況、(2)介護人材確保に関する緊急対策検討会、(3)認知症などに関する意識調査の結果について報告があった後、協議が行われた。

4 自賠責保険対策

1) Web動画形式での自賠責研修会

本会及び日本損害保険協会の主催によりWeb（オンデマンド配信）で開催し、(1)学術講習「整形外科外傷診療」（講師：市立秋田総合病院整形外科 木村善明先生）、(2)自賠責講習「自賠責保険（共済）のしくみ」（講師：損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター主管 深澤 泰氏）を行った。受講可能期間は、令和6年11月上旬～令和7年1月31日まで。

2) 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会

令和6年10月11日、Webで開催され、山崎理事が出席した。議事として、(1)連絡協議会の趣旨、(2)新基準（自賠責保険診療報酬基準案）の普及に向けた2024年度の取組みに関する報告の後、質疑応答が行われた。制度化に向けて、令和5年度に自賠責請求があった医療機関を対象にアンケート調査が実施される。詳細は、会報第833号に掲載した。

5 個人情報保護法

改正個人情報保護法が平成29年5月30日に施行されたことにより、本会個人情報保護方針等及び会員個人情報の種類と利用目的を本会ホームページに公表している。

6 医療保険関係団体との連絡調整

毎月1回開催される「中国地方社会保険医療協議会鳥取部会」に清水会長が出席し、保険医療機関及び保険薬局の指定について協議を行った。

毎月1回開催される「支払基金鳥取支部審査運営協議会」に清水会長が出席し、審査運営に関して必要な事項を協議するとともに、審査事務センターの運営に関して意見を述べた。

7 国民のための医療推進対策

1) 国民医療を守るための総決起大会

令和6年11月22日、国民医療推進協議会主催、東京都医師会の協力により日医会館において開催され、清水会長、岡本事務局長、森下主事が出席した。医師会関係者や国会議員ら約1,000人の参加があり、国民医療推進協議会長である松本日医会長と尾崎東京都医師会長の挨拶、来賓挨拶、茂松日医副会長による趣旨説明、高橋日本歯科医師会長、岩月日本薬剤師会長、任日本看護協会副会長による決意表明が行われた。その後、猪口日本医療法人 会長が決議案を提案し、満場の拍手をもって採択された。最後に釜范日医副会長による「頑張ろうコール」が行われ大会は終了した。会報第834号に掲載した。

2) 鳥取県国民医療推進協議会総会

令和6年12月17日、県医師会館において県内関係団体の代表者に出席いただき開催した。議事として、(1)経過報告、(2)国民医療を守るための総決起大会の出席報告、(3)各団体の活動状況報告などを行い、最後に本協議会の決議が採択された。その他、参議院選挙に向けて対応を協議した。採択された決議は、日医、都道府県医師会、地元選出の国会議員に送付した。詳細は、会報第835号に掲載した。

10. 医事法規の整備に関する事項

1 母体保護法対策

1) 母体保護法指定医師審査委員会

- (1) 令和6年4月25日、ホテルセントパレス倉吉において開催した。議事として、(1)母体保護法指定医師審査規程の改定、(2)母体保護法指定医師の新規申請などについて協議が行われ、承認した。詳細は、会報第828号に掲載した。
- (2) 令和6年11月21日、Webで開催した。議事として、(1)母体保護法指定医の現況、(2)人工妊娠中絶・不妊手術実施状況について報告があった後、(1)母体保護法指定医師書換え申請、(2)指定証様式、(3)新指定証交付、(4)令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会開催などについて協議を行った。詳細は、会報第834号に掲載した。

2) 母体保護法指定医師研修会（専門医共通講習会）

令和6年9月29日、県医師会館において開催した。講演4題、(1)新たな潮流のなかで母体保護法指定医師が取り組むべきこと～経口中絶薬の国内上市を機に話題となっている国内の人工妊娠中絶治療に関する課題について～（講師：鳥取県医師会母体保護法指定医師審査委員会 周防加奈委員）、(2)刑法の一部改正に伴う母体保護法上の運用およびQ&A（講師：同 明島亮二委員）、(3)臨床倫理の基礎（講師：同 高橋弘幸委員）、(4)症例から学ぶ安心・安全な医療への取り組み（講師：同 岩部富夫委員）【専門共通講習—医療安全：1単位】を行った。受講者は25名。

3) 日本医師会家族計画・母体保護法指導者講習会

令和6年12月7日、日医会館において開催され、県立厚生病院産科婦人科部長 周防加奈先生が出席した。

4) 母体保護法指定医師審査規程の改定

令和6年5月16日に開催した「第2回常任理事会」において、(1)日本産婦人科医会の研修会単位がデジタル化されることに伴い、参加証シールの枚数だけでなく、システム上の単位も合わせて勘案すること、(2)申請に必要な症例数を20症例から10症例（5例以上の中絶手術を含む）に変更することについて承認した。

11. 医療施設の整備に関する事項

1 医療提供体制の確保対策

1) 鳥取県医療審議会

- (1) 令和7年1月16日、テレビ会議で開催され、清水会長、池田常任理事が出席し、清水会長が審議会長に選任された。議事として、(1)令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）、(2)へき地医療拠点病院の指定、(3)災害拠点精神科病院の指定について協議が行われた。また、(1)医療法人部会の審議結果、(2)中山間地域の医療人材確保総合対策の取組状況、(3)令和7年度医学部臨時定員等について報告があった。
- (2) 令和7年3月18日、テレビ会議で開催され、清水会長（審議会長）が出席した。議事として、(1)令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）について協議が行われた。また、(1)医療法人部会の審議結果、(2)第7次鳥取県保健医療計画の達成状況、(3)地域医療構想、(4)へき地医療拠点病院の指定、(5)令和7年度県派遣医師の配置、(6)令和8年度医学部臨時定員に係る増員申請方針案、(7)令和7年度医療人材確保対策の強化、(8)鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定などについて報告があった。

2) 鳥取県医療審議会医療法人部会

- (1) 令和6年10月15日、県庁において開催され、清水会長（部会長）が出席した。議事として、医療法人の設立認可申請1件と解散認可申請7件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。また、非医師の理事長就任認可案件3件についての現状報告があった。
- (2) 令和7年1月16日、県医会館において開催され、池田常任理事が出席し、部会長に選任された。議事として、医療法人の設立認可2件と解散認可1件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。
- (3) 令和7年3月17日、県庁において開催され、池田常任理事（部会長）が出席した。議事として、医療法人の設立認可2件と解散認可2件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

3) 鳥取県立病院運営評議会

令和7年1月28日、県庁において開催され、清水会長が出席し、評議会長に選出された。議事として、次期経営強化プランの進捗状況及び評価、県立厚生病院における病床機能の一部変更及び経営強化プランの一部改正、令和6年度における県立病院の主なトピックスについて協議が行われた。

4) 都道府県医師会新たな地域医療構想・医師偏在対策担当理事連絡協議会

令和7年3月19日、日医会館においてハイブリッドで開催され、秋藤・池田両常任理事がWebで出席した。協議会は2部構成になっており、「新たな地域医療構想」および「医師偏在対策」について、それぞれ日本医師会による説明と先進県の取り組みが報告された。

12. 医業経営の安定、会員の福祉向上による 国民の健康及び福祉の増進に関する事項

1 医事紛争対策

1) 第72回医事紛争処理委員会

令和6年5月16日付け、書面で開催した。県内の医事紛争の状況について、新規受付件数、解決した件数、未解決件数等について全ての委員から同意する旨の回答を得た。

2) 中国四国医師会連合医事紛争研究会

令和6年11月4日、岡山市において岡山県医師会の担当により開催され、清水会長、瀬川副会長、秋藤常任理事、野口顧問弁護士が出席した。濱口日医常任理事の挨拶に続き、各県医師会から提出された7議題及び日医への要望・提言1題について協議が行われた。詳細は、会報第834号に掲載した

3) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会

令和6年12月5日、Webで開催され、瀬川・秋藤両常任理事が出席した。議事として、(1)日医医賠償保険制度50年の歩み、(2)日医医賠償保険の運営に関する経過報告、(3)転倒に関する分析結果と医事紛争について説明があった後、都道府県医師会からの質問に回答があった他、日医事務局より特約保険システム改定等について解説が行われた。

2 看護職員対策の連携強化

1) 都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会

令和6年6月12日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)看護職員を巡る動向（厚労省医政局看護課）、(2)日医医療関係者検討委員会報告書、(3)日医からの報告、(4)協議が行われた。

2) 東部医師会立鳥取看護高等専修学校卒業生への表彰

令和7年3月1日、鳥取看護高等専修学校において開催され、会長代理として瀬川副会長が出席し祝辞を述べた。本会より県医師会長表彰として表彰状と記念品を贈った（卒業生1名）。

3) 鳥取県准看護師試験委員会

令和7年3月6日、オンラインで開催され、門脇義郎先生（中部医師会員）が出席した。議事として、(1)令和6年度准看護師試験の実施結果、(2)合否判定などについて協議が行われた。

4) 鳥取県ナースセンター事業運営協議会

令和7年2月6日、Webで開催され、岡田常任理事が出席した。議事として、令和6年度ナースセンター事業委託料・事業の従事者、鳥取県ナースセンター令和6年度事業実績、令和7年度鳥取県ナースセンター事業（案）などについて協議が行われた。

3 勤務医、病院対策

1) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

令和6年5月17日、日医会館において開催され、渡辺会長（日医勤務医委員会委員長）、廣岡理事が出席した。最初に全国医師会勤務医部会連絡協議会について令和5年度担当の青森県医師会から実施報告が行われ、続いて令和6年度担当の福岡県医師会から今年度の開催内容等について説明が行われた。協議では、(1)大規模災害と勤務医（細川日医常任理事）、(2)若手医師の期待に応える医師会の姿（今村日医常任理事）の講演の後、質疑応答が行われた。詳細は、会報第828号に掲載した。

2) 全国医師会勤務医部会連絡協議会

令和6年10月26日、福岡市において「勤務医の声を医師会へ、そして国へ～医師会の組織力が医療を守る～」をメインテーマに福岡県医師会の担当で開催され、廣岡理事、渡辺顧問（日医勤務医委員会副委員長）が出席した。特別講演3題のほか、日医勤務医委員会報告、シンポジウムが行われ、最後に「ふくおか宣言」が採択された。詳細は、会報第833号に掲載した。

3) 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会

令和6年10月31日、日医会館においてハイブリッドで開催され、清水会長、永島常任理事、山田理事、事務局が出席した。議事として、「より具体的な入会促進に向けた取り組み」をテーマに、「さらなる医師会組織強化に向けて」（角田日医副会長）説明を受けた後、都道府県医師会からの活動報告、協議が行われた。詳細は、会報第833号に掲載した。

4) 鳥取県医療勤務環境改善支援センター

(1) 都道府県医療勤務環境改善担当課長等会議

厚生労働省主催で、下記のとおりWebで2回開催され、労務管理アドバイザー、岡本事務局長、岩垣次長、上治主事が県医師会館等にて視聴した。

1) 令和6年6月27日

(1)医療機関の勤務環境改善に向けた今後の取組について、(2)医療勤務環境改善マネジメントシステムについて、(3)医師労働時間短縮計画の見直し及び令和6年度予算等について、(4)医業経営アドバイザーの活用について説明があった。

2) 令和7年1月31日

(1)医師の働き方改革を取り巻く状況について、(2)医療機関の取組支援について、(3)評価センターからの情報提供について説明があった。

(2) 第10回「勤務環境改善に向けたトップマネジメント研修会」

令和6年11月1日、県医師会館において医療機関の管理者等を対象に「働き方改革の推進及び医療勤務環境改善に向けた意識づけを図ること等」を目的としてハイブリッドで開催した。秋藤常任理事の挨拶後、講演1「医師の働き方改革～鳥取大学医学部附属病院での取り組み～」(講師：鳥取大学医学部循環器・内分泌代謝内科学教授 山本一博先生)、引き続き、講演2「鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センターの取り組み」(講師：鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター長 山田七子先生)を行った。参加者59名。詳細は、会報第833号に掲載した。

(3) 労務管理セミナー

令和6年12月13日、県内医療機関の管理者、労務管理の責任者・担当者を対象にハイブリッドで開催した。鳥取労働局からは、令和6年4月1日から開始された医師の時間外・休日労働上限規制への対応についての留意点として、医療機関における労働時間管理のポイント、医師の研鑽と黙示の指示について、労基法・医療法の面接指導と安衛法の面接指導、医師の宿日直許可と許可後の注意点等について説明があった。続いて、鳥取県医療政策課からは、医師の働き方改革に関する現状報告について説明があった。参加者42名。詳細は、会報第835号に掲載した。

(4) 運営協議会

1) 令和6年7月11日、テレビ会議で開催し、清水会長（センター長）、瀬川副会長、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)令和5年度センター活動報告、(2)医師の働き方改革施行後の対応状況、(3)令和6年度センター事業、(4)令和6年度労働局事業などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第830号に掲載した。

2) 令和7年3月21日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度事業中間報告、(2)令和6年度医療機関訪問の支援状況、(3)医師の働き方改革（令和6年4月施行）への対応について報告があった後、令和7年度事業計画案について協議を行った。詳細は、会報第838号に掲載した。

(5) 推進委員会

1) 令和6年9月13日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和5年度センター活動報告、(2)医師の働き方改革施行後の対応状況、(3)令和6年度センター活動中間報告、(4)令和6年度労働局事業などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第832号に掲載した。

2) 令和6年12月18日、テレビ会議で開催し、岡本事務局長（委員長）、岩垣次長、上治主事が出席した。議事として、(1)令和6年度センター活動中間報告（事業報告・トップマネジメント研修会・労務管理セミナーについて、医療機関訪問実施状況、宿日直許可取得状況、相談受付状況など）、(2)医師の働き方改革の推進に向けた県内医療機関の状況等、(3)医療機関に対する個別支援の方向性などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第835号に掲載した。

3) 令和7年2月26日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度事業中間報告、(2)令和6年度医療機関訪問の支援状況、(3)医師の働き方改革（令和6年4月施行）への対応について報告があった後、令和7年度事業計画（案）について協議を行った。詳細は、会報第837号に掲載した。

(6) 鳥取県医療政策課、鳥取労働局、勤改センターの担当で三者協議

鳥取県医療政策課、鳥取労働局、勤改センターの各担当で三者協議を5回行い、勤改センターの活動計画や、勤改センターが行っている医療機関への支援状況報告や宿日直許可取得状況の情報交換を行い、医療機関が抱えている課題等について検討を行った。

(7) 厚生労働省スーパーアドバイザー事業支援

厚生労働省委託事業のスーパーバイザー支援業務として、島根県及び鳥取県の担当の医業経営アドバイザーの眞鍋一氏（公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会理事）が、令和6年8月9日と11月22日に県医師会館に来館され、岡本事務局長、岩垣次長、アドバイザー（労務

管理及び医業経営)、県医療政策課並びに鳥取労働局担当者と勤改センターの体制や県、労働局の関わり等の確認、今後のセンターへの支援について情報交換を行った。

(8) 医療機関訪問個別の支援

鳥取県が令和6年6月に厚生労働省調査に合わせて、県内病院(大学病院を除く)、有床診療所、夜間休日診療所(計60機関)へのアンケート調査を実施。その結果を踏まえ、県内43病院に医療労務管理アドバイザー及び医業経営アドバイザーによる医師の働き方改革施行後の訪問(実地)調査及び必要に応じて助言・支援を実施した。

9月10日付で、鳥取県医療政策課、勤改センターの連名で、43病院に実施協力依頼通知発出。

実施時期:10月~12月。

(結果)

	医業経営 AD・医療労務管理 AD			医療労務管理 AD のみ			計
	東部	中部	西部	東部	中部	西部	
支援終了	7	6	9	7	4	10	43

1) 「鳥取県特定労務管理対象機関」として指定された(令和6年4月1日から指定期間3年間)3病院。

医療機関名(所在地)	指定の種類	指定事由	期間
鳥取大学医学部附属病院(米子市)	連携特定地域医療提供機関(連携B水準)	医師派遣	R6.4.1~R9.3.31
鳥取県率中央病院(鳥取市)	特定地域医療提供機関(B水準)	救急医療、地域における医療	R6.4.1~R9.3.31
鳥取赤十字病院(鳥取市)	特定地域医療提供機関(B水準)	地域における医療	R6.4.1~R9.3.31

- ・病院全体で以前より労働時間短縮に向けての意識が高まっている。
- ・時短計画に沿って、取り組み状況や時短計画の達成状況を確認中である。
- ・4月以降、時間外労働100時間超えの医師がいるかどうか絶えず確認し、100時間を超える前に面接指導を受けていただくよう体制を整えている。
- ・医師時間短縮計画(令和6年度からの3カ年計画)の令和6年度現在の達成状況及び達成状況に応じた計画を一部見直し、取組強化を図られる予定であることを確認した。

2) A水準の医療機関で面接指導の実施に向けた支援、医師労働時間短縮計画の支援等を行う必要がある医療機関:9病院

- ・勤怠システム、ICカードを導入して、客観的な労働時間の把握管理がなされているが、医師の自己研鑽時間は、申告制で院内での大まかなルールはあるが、明文化されていない。
- ・月の時間外・休日労働が100時間を超える対象医師がいないので、面接指導実施医師の確保がされないところがある。また、面接指導の対応の方法や手続きなどが決まっていない。
- ・タスクシフト・シェアを検討したいが、受け手側の人材が不足している。特に看護助手等の人材確保が難しい等の課題が挙げられた。

3) A水準の医療機関で、地域全体で医師の労働時間を短縮していくための取り組みを進めていくために支援の必要がある医療機関:31病院

- ・時間外・休日労働と副業（兼業先）の労働時間を通算しても 100 時間超えの医師はいない。
- ・勤怠システム、IC カード、タイムカードで労働時間が管理されているが、出勤簿で管理されているところが 3 病院あった。3 病院の現状は、自主申告制としている。タイムカードを導入したが、習慣づかず断念した経緯がある。常勤医師は全員経営者であり、労働時間の管理は不要である。ただし、非常勤医師は出勤簿で管理しているということであった。
- ・昨今の物価高騰により資材・光熱費等が上昇している。経済的には非常に厳しい。また、看護師等の医療職の人材確保（育児休業の代替要員の確保、短時間勤務希望者への対応、高齢化等）が難しい等の課題が挙げられた。

＜まとめ＞

病院訪問個別支援の結果、現時点では、

- ① 診療体制や地域医療への影響があったとする病院→なし
- ② 医師の派遣引き揚げがあったとする病院→なし
- ③ 新たに一般水準（960 時間）超えの勤務医がいると見込まれる病院→なし

また、厚生労働省による医療機関、文部科学省による大学病院アンケート調査（6～7 月）でも、診療体制の縮小や医師の派遣引揚げ等は報告されていない。

⇒ 現時点で「医師の働き方改革」に直接起因する大きな課題は表面化していないものの、引き続き注視する必要がある。

4) 医療機関からの個別相談にも対応しており、労務管理 19 件、講師派遣依頼 11 件であった。

相談内容は医師の労働時間管理（副業・兼業の労働時間を把握するための仕組みや自己研鑽のルール化等）、宿日直業務及びその取得方法、面接指導の実施方法の確認や代償休息の与え方等医師の働き方改革に関する相談が多い状況にある。この他、看護師の勤務環境改善の支援の相談もあった。

また、医療機関、産保保健関係団体等から研修の講師派遣依頼が 11 件あり、講師として、医療労務管理アドバイザーを派遣した。講演のテーマとしては、パワーハラスメント防止、カスタマーハラスメント対応、変形労働時間制を導入するにあたって職員への制度周知、病院協会支部及び産業保健関係団体からは「医師の働き方改革について」の講演依頼があった。

（９）県内病院の宿日直許可に係る取得状況

県内病院の宿日直許可に係る取得状況について、令和 6 年度支援実績と電話による確認を行った。

- ・宿日直許可を取得している病院：38 病院
- ・経営者などが宿日直業務を行っているので取得は不要と判断している病院：3 病院
- ・宿日直許可に該当しないため取得しないとしている病院：1 病院
- ・現在、宿日直許可取得のため準備中、申請中などの病院：1 病院

（10）勤務環境改善に関する情報提供等

1) 会報に労務管理に関する記事を「センター通信」として毎月掲載し、勤改センターホームページにも掲載した。ホームページには、医師の働き方改革の制度解説・最新情報や医療機関の勤務環境改善に役立つ情報等を掲載し提供している。また、メールマガジンも毎月 1 回発行している。

2) 当センターの利用を促進するため、リーフレットを 1,000 部作成し、県下全医療機関等関係先に配布するとともに、会報にも掲載した。

- 3) 医師及び医療従事者へ医師の働き方改革の趣旨及び制度内容を周知するために用いることができる『医療機関の働き方改革』に係るパンフレットを 1,500 部作成し、県下全医療機関等関係先に配布した。
- 4) 県民への「医療機関の働き方改革」の普及・啓発に係る院内掲示用ポスターを 1,500 部作成し、県下全医療機関等関係先に配布した。

(11) 医師働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査（制度開始後調査）

日本医師会は、令和 6 年 4 月からの改正医療法施行後における医療機関及び地域医療への影響を把握するため、8 月に全病院及び有床診療所 14,216 施設を対象にアンケート調査を実施した。県内の医療機関に対して、本会と鳥取県医療勤務環境改善支援センターとの連名により調査協力依頼を行った。

調査の結果 4,082 施設から回答（回答率 28.7%）であった。その結果、現時点では、全体的に想定したほどの影響は出ていないとしつつ、医師の引き揚げ増加や宿日直の応援医師の確保の困難さが、各医療機関の医療提供体制にどのような影響を及ぼすのか、また各地域の医療提供体制に及ぼす影響や、地域で実際に生じていると考えられる問題点がどのように変化していくかについても、引き続き注視していく必要がある考えが示された。

(12) 医療労務管理アドバイザー研修会

勤改センターが委嘱しているアドバイザー（医業経営及び医療労務管理）21 人を対象に、医療機関の勤務環境改善支援に関する研修会を 2 回開催し、岩垣次長が出席した。

1) 令和 6 年 5 月 15 日

「倉吉交流プラザ」で開催し、西山医療労務管理アドバイザーから「医師の働き方改革」の概要説明に続き、県医療政策課からは医療法の改正に伴う施行通達の解説及び病院個別訪問支援について説明があった。参加者 22 名。

2) 令和 7 年 2 月 18 日

「鳥取県医師会館」にて開催し、公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 理事 眞鍋 一氏より、「勤改センターにおける医業経営アドバイザーの役割」について、講演があった。参加者 16 名。

(13) 厚生労働省主催アドバイザー研修会

下記のとおり Web で 2 回開催され、アドバイザー（医業経営及び医療労務管理）、岩垣次長が県医師会館等にて視聴した。

1) 令和 6 年 5 月 29 日

(1) 医療機関の勤務環境改善の推進について、(2) 医師の時間外労働上限規制の制度、(3) アドバイザーの基本的対応、(4) 効果的な医療機関支援に向けた都道府県、勤改センター及びアドバイザー間の連携等について（都道府県とのかかわりのポイント）、(5) アドバイザーの方々が医療機関を支援するに当たっての心構え、留意点、(6) 重点的な課題の説明①：宿日直許可、研鑽の取扱い、(7) 重点的な課題の説明②：追加的健康確保措置、勤務間インターバルについて説明があった。参加者 13 名。

2) 令和 6 年 12 月 6 日

(1) 医師労働時間短縮計画の見直し等について、(2) 医療機関の勤務環境改善に向けたこれまでの取り組みと今後について、(3) 今後勤改センターに求められる支援について、(4) 医療機関における業務効率化等の取り組みについて説明があった。参加者 10 名。

(14) 鳥取労働局主催説明会

鳥取県労働局主催で、医療機関の経営者、人事・総務担当等を対象に、労働時間に関する法制度等の周知、理解の促進に向けた説明会が下記の通り開催された。各会場で労務管理アドバイザーより勤改センターの紹介、医療機関への支援内容について説明を行った。その他、会場にブースを設け、労務管理アドバイザーが個別相談等（質疑、支援策案内）に対応した。

東部：令和6年7月19日	会場「鳥取労働局」	13 医療機関参加
令和6年10月17日	会場「鳥取市高齢者福祉センター」	3 医療機関参加
中部：令和6年7月3日	会場「倉吉地方合同庁舎」	9 医療機関参加
令和6年10月25日	会場「駅パル倉吉」	1 医療機関参加
西部：令和6年7月12日	会場「米子地方合同庁舎」	15 医療機関参加
令和6年10月15日	会場「鳥取県立米子コンベンションセンター」	5 医療機関参加

4 損害保険、生命保険の団体業務の継続

1) 日本医師会医師賠償責任保険

日本医師会医師賠償責任保険（100万～1億円補償）は、昭和48年7月から発足し、勤務会員も加入しているが、現行の日医医賠償責任保険でカバーできない部分について、日医A会員が任意で加入できる「日医医賠償特約保険（1億超～3億円補償）」の加入者（期間：令和6年7月1日～令和7年7月1日）は228名である。

2) 損保ジャパン医師賠償責任保険加入会員

令和7年3月末日現在、医師賠償責任保険加入会員数は305名である。

3) 生命保険加入代理店の業務

第一、日本、明治安田、大樹の5社との契約を存続し会員福祉向上に努めている。令和7年3月末日現在、各社の契約件数は次のとおりである。

第 一	68件	日 本	68件	明治安田	2件
グループ	350件	大 樹	49件		

4) 損保ジャパン所得補償保険加入会員

令和7年3月末日現在、所得補償保険加入会員数は90名である。

5 会員福祉対策

1) 日本医師会医師年金の加入

令和7年3月末日現在、本県会員の医師年金加入者は73名、受給者は137名である。

2) 全国国民年金基金・日本医師従業員支部（旧日本医師従業員国民年金基金）

日医が設立母体となり、平成3年4月創設、同年5月15日設立認可を得て日本医師従業員国民年金基金として発足した。平成31年4月、全国国民年金基金へ統合し、全国国民年金基金日本医師従業員支部へ移行した。本県加入総数は103名である（令和7年3月末日現在）。

3) 鳥取県医療機関企業年金基金への対応

平成5年4月1日に発足した「鳥取県医療機関厚生年金基金」は、平成28年3月25日をもって解散し、平成28年4月1日に「鳥取県医療機関企業年金基金」として新たに発足した。令和7年3月末現在の加入者数は3,723名、加入事業所は64である。

4) 会員総会

令和6年6月15日、ホテルニューオータニ鳥取において開催した。米寿・喜寿御祝贈呈、各種表彰授与の後、鳥取医学賞講演「鳥取県における熱中症救急搬送」（鳥取大学国際乾燥地研究教育機構准教授 大谷眞二先生）、鳥取医学雑誌新人優秀論文賞講演「悪性高血圧症、心不全および腎機能障害を発症後、脳梗塞を併発した高安動脈炎の1例」（智頭病院内科 實松 萌生）、特別講演「大規模災害と医師会－令和6年能登半島地震における JMAT の活動と今後－」（細川日医常任理事）を行った。詳細は、会報第829号に掲載した。

5) 物故会員について

令和6年4月1日から令和7年3月末日までの間に物故された会員は、次のとおりである。

<u>井上 雅勝 先生 (79 歳)</u> 鳥取市 (6.4.4 逝去)	<u>高田 貢太郎 先生 (97 歳)</u> 境港市 (6.5.7 逝去)	<u>原 宏 先生 (93 歳)</u> 米子市 (6.6.20 逝去)
<u>鈴木 健男 先生 (73 歳)</u> 米子市 (6.6.25 逝去)	<u>倉元 義人 先生 (90 歳)</u> 境港市 (6.9.22 逝去)	<u>小松原 孝介 先生 (88 歳)</u> 米子市 (6.10.8 逝去)
<u>木村 禎宏 先生 (90 歳)</u> 米子市 (6.10.29 逝去)	<u>池田 茂之 先生 (88 歳)</u> 鳥取市 (7.2.2 逝去)	

6) 会員表彰

本年度の「叙勲・褒章」「一般表彰」「会長表彰」等は、次のとおりであった。＜敬称略＞

1. 叙位・叙勲

6. 4. 2 9	瑞宝双光章	庄司眞喜（鳥取市）	学校保健功労
6. 1 0. 2 9	従六位	故木村禎宏（米子市）	
6. 1 1. 3	瑞宝中綬章	豊島良太（境港市）	教育研究功労
6. 1 1. 3	瑞宝単光章	田中敬子（鳥取市）	社会福祉功労

2. 一般表彰

厚生労働大臣表彰

6. 9. 9	山代 豊（鳥取市）	救急医療功労者
〃	田口俊章（鳥取市）	産科医療功労者
6. 1 0. 2 1	皆川幸久（鳥取市）	国民健康保険関係功績者
〃	三上真顯（西伯郡）	〃
6. 1 1. 5	吉田明雄（東伯郡）	支払基金関係功績者
7. 2. 2 5	根津 勝（米子市）	公衆衛生事業功労者
〃	瀬川謙一（八頭郡）	〃

文部科学大臣表彰

6. 1 1. 7	川田秀一（米子市）	学校保健功労者
-----------	-----------	---------

日本医師会赤ひげ功労賞

7. 2. 2 1 武地幹夫（日野郡）

日本公衆衛生協会会長表彰

7. 2. 2 5 長田郁夫（米子市） 公衆衛生事業功労者

〃 太田匡彦（鳥取市） 〃

読売新聞医療功労表彰

7. 1. 2 9 塩 孜（東伯郡） 中国地方医療功労賞

鳥取県知事表彰

6. 9. 1 0 松田裕之（鳥取市） がん対策従事者功労者

6. 1 0. 3 岡空輝夫（境港市） 救急医療功労者

6. 1 1. 2 1 大石正博（鳥取市） 〃

鳥取県教育委員会表彰（学校保健功労者）

6. 1 1. 2 0 寺岡 均（鳥取市） 潮 晴美（西伯郡）

鳥取県学校保健会長表彰（学校保健功労者）

7. 2. 2 岩澤利典（鳥取市） 音田誠一（東伯郡） 安達敏明（米子市）

佐古博恒（米子市） 瀬口正史（米子市） 武地幹夫（日野郡）

鳥取県保健事業団理事長感謝状

6. 9. 1 0 武地幹夫（日野郡） 対がん事業功労者

3. 鳥取県医師会長表彰

6. 6. 1 5 会員として満50年以上医業従事者（会員総会）

庄司眞喜（鳥取市） 柿坂紀武（若桜町）

6. 6. 1 5 永年役員（会員総会）

藤瀬雅史（西部医師会）

6. 6. 1 5 第33回鳥取医学賞（会員総会）

大谷眞二（鳥取大学国際乾燥地研究教育機構）

6. 6. 1 5 第11回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞（会員総会）

實松 萌（智頭病院）

6. 1 0. 3 1 鳥取県産業安全衛生大会（永年産業医）

越智 寛（米子市） 來間美帆（境港市）

4. 長寿御祝（会員総会）

<米寿>

瀧田親友朗（鳥取市）

常松久晃（米子市）

菅村昭夫（米子市）

前嶋 檀（鳥取市）

坂口茂正（米子市）

北川達也（鳥取市）

桜井克彦（鳥取市）

石田勝也（鳥取市）

篠原みさ子（伯耆町）

＜喜寿＞

尾崎行男（鳥取市）	岸本幸廣（米子市）	吉田真人（鳥取市）
西垣隆志（鳥取市）	高森道雄（鳥取市）	熊谷哲夫（倉吉市）
伊藤隆志（米子市）	山本敏雄（倉吉市）	音田正樹（倉吉市）
尾崎健一（鳥取市）	田村公平（鳥取市）	遠藤 哲（米子市）
徳永 進（鳥取市）	高木潤二（米子市）	谷本 要（米子市）
中井一仁（米子市）	鳥羽信行（大山町）	笠木正明（米子市）
井上公明（鳥取市）	吉水信明（三朝町）	浜副 薫（米子市）
永原 裕（米子市）	深田民人（倉吉市）	林 裕史（鳥取市）

7）第6回全国医師ゴルフ選手権大会

令和6年5月4日、岐阜・関カントリー倶楽部において日医と全国医師協同組合連合会との共催で開催された。鳥取県医師会を代表して、西部医師会の藤瀬雅史先生、永井琢己先生が参加し、チャンピオン戦の団体戦で9位になった。大会報告は、会報第828号に掲載した。

13. 医師会相互の連絡調整に関する事項

1 日本医師会との連携強化

1) 日本医師会定例代議員会

令和6年6月22日、日医会館において開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。松本日医会長挨拶、議長及び副議長の選定、令和5年度日本医師会事業報告が行われた後、議事として、「第1号議案 令和5年度日本医師会決算の件」について審議が行われ、議案どおり承認された。続いて、「第2号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事、理事、監事）及び裁定委員選任の件」、「第3号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事）選定の件」が一括上程された。会長には定数を超えた2名の立候補者があったため、投票が行われ、松本吉郎先生が選任された。常任理事、理事、監事、裁定委員はいずれも定数どおりの立候補者であったため、全員が選任された。選任後は、賛成多数で各候補者が会長、副会長、常任理事に選定された。詳細は、日医ニュースに掲載された。

2) 日本医師会臨時代議員会

- (1) 令和6年6月23日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。松本日医会長の挨拶、議事として、「第1号議案 令和7年度日本医師会会費賦課徴収の件」について審議が行われ、議案どおり承認された後、代議員からの質問18件に対し、それぞれ担当役員から答弁がなされた。詳細は、日医ニュースに掲載された。
- (2) 令和7年3月30日、日医会館において開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。松本日医会長の挨拶に続き、令和7年度事業計画及び予算の報告があった後、代議員からの質問19件に対し、それぞれ担当役員から答弁がなされた。詳細は、日医ニュースに掲載された。

3) 都道府県医師会長会議

- (1) 令和6年9月17日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、Aグループ（テーマ：「災害医療（災害対策）」による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対して日医執行部より答弁がなされた。詳細は、日医ニュースに掲載された。
- (2) 令和6年11月19日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、Bグループ（テーマ：「医師少数地域における医師確保について」）による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対して日本医師会執行部より答弁がなされた。詳細は、日医ニュースに掲載された。
- (3) 令和7年1月21日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、今回はCグループ（テーマ：地域産業保健センターの活性化）による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対し、日医執行部より答弁がなされた。詳細は、日医ニュースに掲載された。

4) 日本医師会設立77周年記念式典並びに医学大会

令和6年11月1日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。日本医師会最高優功賞17名、日本医師会優功賞2名、日本医師会医学賞4名、日本医師会医学研究奨励賞15名に対する表彰等が行われた。詳細は、日医ニュース等に掲載された。

5) 都道府県医師会事務局長連絡会

令和7年2月28日、日医会館において開催され、岡本事務局長が出席した。松本日医会長の挨拶の後、今期で退任となる6県医師会事務局長（中国四国ブロックでは高知県）に対し感謝状と記念品が贈呈され、続いて講演「2024年公益法人制度改革について」（講師：公益法人協会理事・業務部長 竹井豊氏）が行われた。

6) 第13回「日本医師会赤ひげ大賞」表彰式・レセプション

令和7年2月21日、東京において日医と産経新聞社の共催により開催され、清水会長が出席した。表彰式では、松本日医会長による主催者挨拶に続き、石破茂内閣総理大臣が祝辞を述べられた後、5名の大賞受賞者と14名の功労賞受賞者が表彰された。鳥取県からは武地幹夫先生（西部医師会）が功労賞を受賞し出席された。受賞者の日頃の活動と表彰式の模様を特集した番組「密着！かかりつけ医たちの奮闘～第13回赤ひげ大賞受賞者～」は、BSフジで3月30日（日）の午後5時より約1時間放送された。

7) 日本医師会在宅医療シンポジウム

令和7年3月23日、日医会館においてハイブリッドで開催され、三上常任理事がWebで視聴した。講演「第8次医療計画における在宅医療の体制整備と2040年に向けた提供体制の構築」、2つのシンポジウム「2040年に向けた地域を面で支える在宅医療」「医療的ケア児を地域で支えるために」の後、フロアを交えた意見交換が行われた。詳細は、会報第838号に掲載した。

8) 日本医師会「大規模イベント医療・救護研修会」

令和7年2月24日、日医会館においてハイブリッドで開催され、山崎理事がWeb出席した。大規模イベント時における危機管理体制等に関する講義やターニケットの使用法等についての実習が行われた。詳細は、会報第837号に掲載した。

9) その他

(1) 台湾東部地震への医療支援

日医より協力依頼があった。会報第826号に掲載し会員に協力依頼した。支援金はすべて台湾医師会に支出された。

(2) 松本吉郎先生日本医師会会長選挙対策本部事務所開き

令和6年6月2日、東京において開催され、清水副会長が出席した。松本吉郎先生からは、参集した約200人の支持者を前に令和6年6月22日に行われる日医会長選に向けて8つの地方ブロック医師会全ての推薦を得たことに謝意が述べられた。また、キャビネットに名を連ねた副会長・常任理事候補も、松本執行部発足に向けて、それぞれ決意と抱負を語られた。

(3) 日本医師会役員就任パーティー

令和6年7月23日、東京において開催され、清水会長、魚谷・渡辺両顧問が出席した。岸田首相や武見厚生労働大臣、自見地方創生担当相らも出席され、盛会であった。

(4) 診療所の光熱費の変動に関する実態調査

日医より協力依頼があった。調査対象は10施設以上の診療所（無床・有床）である。該当する役員並びに地区医師会長に協力をお願いした。

2 中国四国医師会連合との連携強化

1) 中国四国医師会連合常任委員会（会長会議）

令和6年5月18日、岡山市において香川県医師会の担当により開催され、渡辺会長が出席した。議事として、(1)日医役員選挙中国四国ブロック選出候補者、(2)日医役員選挙への中国四国ブロックとしての対応などについて協議が行われた。詳細は、会報第828号に掲載した。

2) 中国四国医師会連合常任委員会・連絡会

- (1) 令和6年6月21日、東京において香川県医師会の担当により開催され、清水会長、渡辺顧問（日医理事）が出席した。常任委員会では、中国四国医師会連合委員長で香川県医師会の久米川会長の挨拶の後、令和6年7月1日から連合当番となる岡山県医師会の松山会長より、令和6年9月28日（土）・29日（日）の両日に亘り開催される「中国四国医師会連合総会」の日程、第1～4分科会のテーマ、回答方法、日医への提言・要望等について説明があった。引き続き、連絡会が開催され、財務委員会及び議事運営委員会報告が行われた後、渡辺顧問より、鳥取県医師会会長退任挨拶があった。詳細は、会報第829号に掲載した。
- (2) 令和6年9月28日、岡山市において岡山県医師会の担当により開催され、清水会長、瀬川・辻田両副会長が出席した。議事として、(1)中央情勢報告、(2)令和5年度中国四国医師会連合事業・会計報告があった後、(1)今後の行事の進め方、(2)新会員情報管理システム（MAMIS）導入に関する要望書の提出、(3)次期当番県について協議が行われた。令和7年度は、令和7年9月27・28日の2日間に亘り山口市において山口県医師会の担当で開催される。詳細は、会報第833号に掲載した。
- (3) 令和7年3月29日、東京において岡山県医師会の担当により開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。最初に常任委員会が開催され、議事として、(1)令和7年度中国四国医師会連合関連会議、(2)医療保険分科会の開催、(3)日医外部理事・外部監事等について協議を行った。引き続き、連絡会が開催され、議事として、(1)日医財務委員会報告、(2)日医議事運営委員会報告、(3)中央情勢報告が行われた。詳細は、会報第838号に掲載した。

3) 中国四国医師会連合総会

令和6年9月29日、岡山市において岡山県医師会の担当で開催された。委員長挨拶（松山岡山県医師会長）、来賓祝辞、来賓紹介の後、続けて分科会報告、令和5年度事業・会計報告、次期開催県医師会長挨拶（加藤山口県医師会長）と次第に沿って進められた。

4) 中国四国医師会連合分科会

令和6年9月28・29日の2日間にわたり岡山市において岡山県医師会の担当により開催され、清水会長以下役員が出席した。詳細は、会報第833号に掲載した。

○第1分科会「医療政策、災害・救急」

佐原日医常任理事をコメンテーターに迎え、「2024年度診療報酬改定の影響」および「地域における救急医療の課題とその解決に向けた取り組み」について各県の回答をもとに議論された。

○第2分科会「地域医療、医療介護の連携」

江澤日医常任理事をコメンテーターに迎え、「地域医療構想調整会議」および「ACP普及のための各県の取り組み」について各県の回答をもとに議論された。

○第3分科会「勤務医、医師会の組織強化」

今村日医常任理事をコメンテーターに迎え、「医師の働き方の適正化に向けた取り組み」および「会員数増強」について各県の回答をもとに議論された。

○第4分科会「学校保健、子ども医療」

渡辺日医常任理事をコメンテーターに迎え、「学校心臓検診」および「HPVワクチンの接種状況・新設された「1か月児」と「5歳児」健診事業助成の現状と問題点」について各県の回答をもとに議論された。

<特別講演Ⅰ>

松本日医会長より、「最近の医療情勢とその課題」と題して特別講演が行われた。

<特別講演Ⅱ>

東京大学・成城大学 名誉教授 木畑 洋一 先生より、「歴史のなかの現代世界」と題して特別講演が行われた。

5) 中国四国医師会連合事務局長会議

令和7年1月31日、岡山市において開催され、岡本事務局長、神戸課長、高岸主任、森下主事とともに出席した。各県医師会から提出された9議題について協議が行われた。本会としても他県の良い点を参考にしながら業務を進めていく。

6) 関西広域連合協議会

令和6年9月28日、大阪市において開催された。

3 地区医師会との連携強化

当面の諸問題に対応するため、各地区医師会と問題点の共通認識、解決、連携強化を図った。

4 情報ネットワークの推進

1) 医療情報研究会

令和6年5月20日、Webで開催した。急遽、講師の日医常任理事 長島公之先生が公務対応のため、事前録画（講演「日本医師会の目指す医療DX」）されたビデオ視聴に代えた。講演後の質疑応答では、公務を終えた長島先生もカメラ出演され、参加者からの質問に対応いただいた。詳細は、会報第828号に掲載した。

2) 日本医師会医療情報システム協議会

令和7年3月8・9日の両日にわたり、「災害かつ再生に役立つ医療DX—DX推進の現状・課題・展望」をメインテーマに日医会館においてハイブリッドで開催され、辻田副会長、福嶋理事、事務局が出席した。1日目は事務局セッションとして4つの講演が行われた後、セッションⅠ「災害かつ再生に役立つ医療DX」について6つの講演及びパネルディスカッションが行われた。2日目午前はセッションⅡ「医療DXと地域医療情報連携ネットワーク」において6つの講演及び総合討論が行われ、午後はセッションⅢ「医療DX推進の現状・課題・展望」において4つの講演及びディスカッションが行われた。詳細は、会報第838号に掲載した。

3) 日本医師会新会員情報管理システムMAMIS

- (1) アンケート、マスタデータ作成、システム投入用データ作成、周知等について日医から依頼がきている。引き続き、地区医師会の協力を得ながら対応した。
- (2) 令和6年10月30日に公開される標記システムの周知、移行データの提出等について日医から依頼がきている。引き続き、地区医師会と協力しながら対応していく。

(3) 令和6年10月11日、ハイブリッドで開催した。日医情報システム課会員情報室の若井室長に来館いただき、各地区医師会事務局担当者らとともにMAMISの概要・今後の予定などについての説明を受けた。その後、若井室長の直接指導の下に日医提出用データを完成させた。

4) オンライン診療に係る情報共有会（令和6年度地域医療・情報通信担当理事連絡協議会）

令和6年12月21日、日医会館においてハイブリッドで開催され、辻田副会長、三上常任理事がWebで出席した。議事として、(1)国、公益団体からの情報提供、(2)厚生労働科学研究での成果の紹介、(3)事例の紹介、(4)ディスカッションが行われた。

5) ネットワークの構築・統合

鳥取県医師会では、メールアドレスのハッキングによりメールサーバに被害が出たことから、それ以降、セキュリティポリシー等の策定、職員の研修会受講、OSプロテクト製品（AppGuard）の導入など人的・物理的安全管理措置を行い、セキュリティレベルを上げた。現在は、県医師会のファイルサーバを地区医師会も利用できるようネットワークを構築し、県医師会のサポートの下、統一されたセキュリティ基準で運用を進めている。

6) NPO法人おしどりネット理事会

令和6年4月15日、Webで開催され、辻田副会長（理事長）が出席した。議事として、令和5年度事業報告の後、令和6年度活動計画について協議が行われた。令和6年度は、(1)災害時におけるおしどりネット利用のアピール、(2)病院内での勤務医への利用促進広報、(3)県民向け広報の実施、(4)機能追加検討及び予算確保について検討を行う。

7) サイバー保険の加入

サイバー攻撃や情報漏えい、自社ネットワークの管理誤りなど企業のシステムに関連して発生するセキュリティ事故に起因した第三者への賠償責任や事故対応に要する企業の諸費用を包括的に補償する保険（損害保険ジャパン株式会社）に加入した。

8) 鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク総会

令和7年3月5日、県警本部においてハイブリッドで開催され、事務局が出席した。議事として、(1)活動状況等報告、(2)講演2題「サイバー空間を巡る脅威の動向」などが行われた。

9) テレビ会議システム・Web会議

鳥取県医師会館と各地区医師会館の4拠点を結ぶテレビ会議を鳥取県医師会並びに鳥取県健康対策協議会、鳥取県などの関係団体において30回開催した。多くの会議で利用され、医療従事者の負担軽減に繋がっている。また、会員の勤務先、自宅等から参加できるWeb会議を約15回開催した。その他に日本医師会、県等のWeb会議に約35回参加した。

14. その他に関する事項

1 行政との連携強化

1) 第76回鳥取県医療懇話会

令和7年1月9日、県医師会館において県福祉保健部、県子ども家庭部、病院局、医師会が参集し開催した。清水会長、荒金健康医療局長の挨拶に続き、医師会が提出した10議題に対して県から回答があり、その後、質疑応答を行った。詳細は、会報第836号に掲載した。

2) 鳥取県教育委員会との連絡協議会

令和6年11月14日、白兎会館において開催した。医師会からは清水会長以下地区医師会役員も含めた学校保健関係役員が、県教育委員会事務局からは足羽教育長ほか8人の関係者が出席した。県医師会から提出した12の議題について協議を行った後、県教育委員会事務局より12項目の報告があった。詳細は、会報第834号に掲載した。

3) 鳥取県学校結核対策委員会

近年結核患者が発見されていないことから、平成24年度より定期的な開催とせず必要時に開催している。今年度は、結核健康診断結果を各委員に送付し、本会からは笠木正明先生（西部医師会員）が参画した。令和6年度定期健康診断における結核健康診断結果は、精検対象者29名、異常なし29名であった。

4) 鳥取県がん教育推進協議会

令和6年8月8日、県庁においてハイブリッドで開催され、尾崎東部医師会副会長が出席した。議事として、(1)令和5年度「がん教育推進事業」「出張がん予防教室」報告、(2)令和6年度「がん教育推進事業」「出張がん予防教室」説明の後、協議が行われた。

5) 令和7年度全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会宿泊衛生・輸送警備専門委員会

令和6年12月23日、県庁において開催され、来間理事の代理として岡本事務局長が出席した。議事として、(1)各開催地実行委員会の進捗状況、(2)第10回中国ブロック連絡協議会、(3)配宿業務及び弁当調達業務、(4)医療従事者の派遣について報告が行われた後、(1)宿泊衛生、(2)輸送警備などについて協議が行われた。

6) 鳥取県いじめ・不登校対策連絡協議会

令和6年12月5日、県教育センターにおいて開催され、鳥取市立病院診療局長 長石純一先生が出席した。議事として、(1)令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果における鳥取県の状況及び考察、(2)いじめ問題及び不登校支援等に関する県の取組について説明があった後、(1)調査結果を踏まえた今後の取組、(2)不登校等の未然防止について協議が行われた。

7) 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会

令和7年2月22日、日医会館においてハイブリッドで開催され、廣岡理事が県医師会館でWeb出席した。松本日医会長の挨拶の後、報告4題および地域医師会の取組事例の紹介を聴講した。詳細は、会報第837号に掲載した。

8) 鳥取県「令和の改新」県民会議

令和7年1月29日、ホテルニューオータニ鳥取においてハイブリッドで開催され、会長代理として岡本事務局長がWebで出席した。人口減少社会の経済政策や社会政策について地方の視点で考えることを目的に、産官学金労言士の各業界や関係機関の代表らとともに若者や女性に選ばれる地域づくりに向けて意見交換が行われた。

9) ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 実行委員会総会

令和6年6月4日、県民ふれあい会館において開催され、渡辺会長の代理で岡本事務局長が出席した。平井知事の挨拶の後、(1)令和5年度事業報告及び収支決算案、(2)令和6年度事業計画及び収支予算案について審議が行われ、承認された。

10) 令和15年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会鳥取県準備委員会設立総会・第2回総会

令和6年6月4日、県民ふれあい会館において開催され、渡辺会長の代理で岡本事務局長が出席した。平井知事の挨拶の後、議事として、(1)令和5年度事業報告・収支決算案、(2)令和6年度事業計画・収支予算案について審議が行われ、承認された。

11) 鳥取県消費者見守りネットワーク協議会

令和7年2月20日、とりぎん文化会館において開催された。議事として、県内の特殊詐欺を含む消費者被害の現状について報告があった後、研修会、意見交換が行われた。

2 関係団体との連携強化

1) 鳥取県精神保健福祉協会理事会・定期総会

令和6年4月25日、白兎会館において開催された。議事として、(1)令和5年度事業実績及び歳入歳出決算、(2)令和6年度事業計画及び歳入歳出予算案について審議が行われ、承認された。

2) 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター連携協議会・研修会

(1) 令和7年2月13日、鳥大医学部附属病院においてハイブリッドで開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、認知症疾患医療センターの活動報告、事業評価、県からの報告があった後、各機関の啓発活動の現状や課題について協議が行われた。

(2) 令和6年6月27日と7月11日、Webで開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)脳の健康相談会の実施、(2)認知症の早期相談等を啓発するインターネット広告等、(3)鳥取県認知症ポータルサイトの修正などについて協議が行われた。

3) 鳥取県人権文化センター

＜通常理事会＞

(1) 令和6年5月13日、県立生涯学習センターにおいて開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和5年度事業報告及び決算、(2)令和6年度補正予算案、(3)定款の一部変更案、(4)役員の選任案、(5)令和6年度定時総会の招集案について審議が行われ、承認された。

(2) 令和7年3月27日、県立生涯学習センターにおいて開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和7年度事業計画案及び当初予算案、(2)令和7年度資金調達及び設備投資の見込み、(3)令和6年度補正予算案などについて審議が行われ、承認された。また、(1)会長、

副会長、常務理事の職務執行状況、(2)令和7年度市町村支出金承認額などについて報告があった。

＜定時総会＞

令和6年5月29日、県立生涯学習センターにおいて開催された。議事として、(1)令和5年度事業報告及び決算、(3)定款の一部変更案、(4)役員の選任案について審議が行われ、承認された。また、令和6年度事業計画及び予算について報告があった。

4) 鳥取大学医学部心臓血管外科学分野 吉川泰司教授就任祝賀会

令和6年5月11日、ANAクラウンプラザホテル米子において開催され、渡辺会長が来賓祝辞を述べた。

3 四師会との連携

1) 四師会観桜会

令和6年4月11日、鳥取県医師会の担当により5年ぶりにホテルニューオータニ鳥取において開催した。平井知事を来賓に迎え、四師会長からそれぞれ挨拶があった後、懇談した。大変盛会であった。

2) 鳥取県看護協会通常総会

令和6年6月16日、県看護研修センターにおいて開催され、会長代理として瀬川副会長が来賓祝辞を述べた。

3) 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会

- (1) 令和6年5月30日、Webで開催され、小林副会長が出席した。議事として、(1)令和6年度鳥取県助産師出向支援事業計画、(2)助産師出向支援コーディネーター活動報告、(3)今後の取組みについて協議が行われた。
- (2) 令和6年10月31日、Webで開催され、小林哲先生が出席した。議事として、(1)令和6年度助産師出向支援コーディネーター活動報告、(2)令和7年度県政要望について報告があった後、(1)令和6年度助産師出向、(2)令和7年度助産師出向支援事業案について協議が行われた。
- (3) 令和7年2月13日、Webで開催され、小林哲先生が出席した。議事として、(1)令和6年度助産師出向状況、(2)令和7年度に向けての鳥取県助産師出向支援事業に関する調査結果について報告、協議が行われた。

4) 鳥取県訪問看護支援センター事業運営協議会

令和7年3月6日、Webで開催された。議事として、(1)訪問看護ステーションの状況、(2)令和6年度事業報告、(3)令和7年度事業計画案及び予算案、(4)令和7年度訪問看護支援センターの体制拡充案などについて報告、協議が行われた。

5) 鳥取県薬剤師会薬事情報センター運営委員会

令和6年10月24日、県薬剤師会西部支部において開催され、辻田副会長が出席した。議事として、令和5年度事業実績及び収支予算について報告があった後、令和6年度事業計画及び収支予算などについて協議が行われた。

6) 鳥取県歯科医師会新年祝賀会

令和7年1月18日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、会長代理として瀬川副会長が出席した。多数の参加者で盛会であった。

7) 鳥取県看護協会役員との連絡協議会

令和7年2月6日、県医師会館においてハイブリッドで開催し、常任理事会メンバーが出席した。本会および看護協会がそれぞれ事前に用意した議題について討議、意見交換を行った。詳細は、会報第837号に掲載した。

8) 訪問看護指示書交付に係る医療機関の負担の周知

鳥取県看護協会より、「訪問看護指示書は、訪問看護指示料を算定する主治医の属する保険医療機関が準備するものであること」について周知依頼がきたことから、全医療機関にFAXにて周知するとともに、会報第835月号に掲載した。地区医師会にも周知方協力をお願いし、看護協会からも訪問看護ステーションへ周知していただいた。

4 鳥取県医師会報の発行

1) 鳥取県医師会報の発行

鳥取県医師会報は、本会広報の主力をなすものであり、その充実を目途に広報活動の強化に努めた。編集方針は、情報の伝達、執行部の意見開陳のほか、エッセイ等発表の場としている。令和7年3月15日までの発行回数は、第826号から第837号の計12回であった。毎月の発行部数は約1,630部で、全会員のほか日医及び各都道府県医師会、関係機関等へ送付した。

2) 会報編集委員会

令和7年3月27日、Webで開催した。議事として、(1)県医師会報のペーパーレス化、(2)企業広告掲載等について協議を行った。詳細は、会報第838号に掲載した。

5 広報の強化

1) 鳥取県医師会メーリングリストについて

本会では、地域における医師会情報・医療情報の共有と会員同士の親睦を目的に以下のメーリングリストを運営している。

1. 総合メーリングリスト（一般的な話題）
2. 連絡用メーリングリスト（医師会からの連絡など）
3. 緊急用メーリングリスト（医師会のサーバが使えない緊急時に用いるもの）
4. 学校医メーリングリスト（学校保健等の話題）

2) 鳥取県医師会ホームページ

平成9年11月に開設し、平成26年10月1日より内容を大幅にリニューアルし運営を行っている。当会からの情報を「鳥取県医師会のご紹介」「鳥取県民の皆様へ」「医師の皆様へ」に分け、「鳥取県民の皆様へ」では、公開健康講座などのイベント情報、医療情報、医療機関検索等を掲載し、「医師の皆様へ」では、鳥取県医師会報などの刊行物、医療保険情報、感染症情報、生涯教育関連情報等を掲載している。

6 犯罪被害者支援対策

1) 「犯罪被害者支援カウンセリング制度」の協力

県警本部では、平成29年4月1日より犯罪被害者等の精神的被害の回復・軽減を図り、制度の拡充を行うため、カウンセリング費用を公費により負担する制度を運用しており、本会として協力している。

2) 鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会総会

令和6年7月10日、県警本部において開催され、会長代理として岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和5年度活動結果報告等、(2)令和6年度活動計画案、(3)会則の一部改選案、(4)役員の改選等について審議が行われ、承認された。その後、講演「地域における犯罪被害者支援充実のために」、意見交換が行われた。

3) 鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会連絡会（実務担当者研修）

令和6年11月13日、県立図書館において開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)御遺族による講演、(2)犯罪被害者等支援先進自治体の取組事例、(3)パネルディスカッション、(4)グループワークが行われた。

4) とっとり被害者支援センター定時総会

令和6年6月19日、とりぎん文化会館において開催され、会長代理として岡本事務局長が出席した。決議事項として、(1)令和5年度事業報告及び収支決算報告、(2)公益社団法人とっとり被害者支援センター役員の選任について審議が行われ、承認された。

5) 被害者支援を考える講演会

令和6年7月31日、とりぎん文化会館において開催され、講演「想いと願い」（講師：京アニ放火事件ご遺族）が行われた。

6) 鳥取県被害者支援フォーラム

令和6年11月29日、とりぎん文化会館において開催され、講演「途切れない支援の重要性」などが行われた。

7 定款、諸規程の検討

1) 鳥取県医師会職員就業規程

- (1) 令和6年5月30日開催の第2回理事会において、職員給与規程のうち「扶養手当」と「住居手当」の改正について承認され、同日付けで施行した。
- (2) 令和6年10月17日開催の第7回理事会において、有給休暇の取得可能時期の変更および「振休」「代休」制度の追加について承認され、同日付けで施行した。
- (3) 令和7年3月27日開催の第12回理事会において、育児・介護休業法の改正に伴い育児・介護休業等規程の一部改正が承認され、令和7年4月1日付けで施行する。

2) 鳥取県医師会表彰慶弔規程

日本医師会の表彰規程に倣い、令和7年度から長寿祝いは米寿および白寿とした。

8 情報セキュリティ対策

本会における情報セキュリティポリシー等を策定し、令和2年7月1日付けで施行した。組織的・技術的安全管理措置として、職員の教育、ハンドブックの策定、AppGuard の導入、物理的安全管理措置として、会館内に防犯カメラを設置している。

9 公益法人制度改革

(1) 公益法人立入検査指摘事項

令和6年9月26日、県医師会館において実施された（前回は令和3年1月実施、今回が4回目）。定款等規則、理事会、代議員会等法令に則った運営がされているか、会計上適正であるかなどを中心に口頭応対、書類確認等が行われた。後日、正式な指摘事項等がメール添付にて書面通知され、指摘がなされた5つの事項の改善状況等について県担当課へ報告した。

(2) 都道府県医師会公益法人制度改革担当理事連絡協議会

令和6年12月13日、Webで開催され、事務局担当者が出席した。松本日医会長挨拶の後、講演2題、(1)2024年公益法人制度改革で何が変わるのか（講師：大野内閣府公益認定等委員会事務局（公益法人行政担当室）次長）、(2)公益法人制度改革への具体的な対応について（講師：竹井公益法人協会理事・業務部長）を視聴した。詳細は、会報第835号に掲載した。